

小型蓄電システム
ESS-P05004D0

取扱説明書

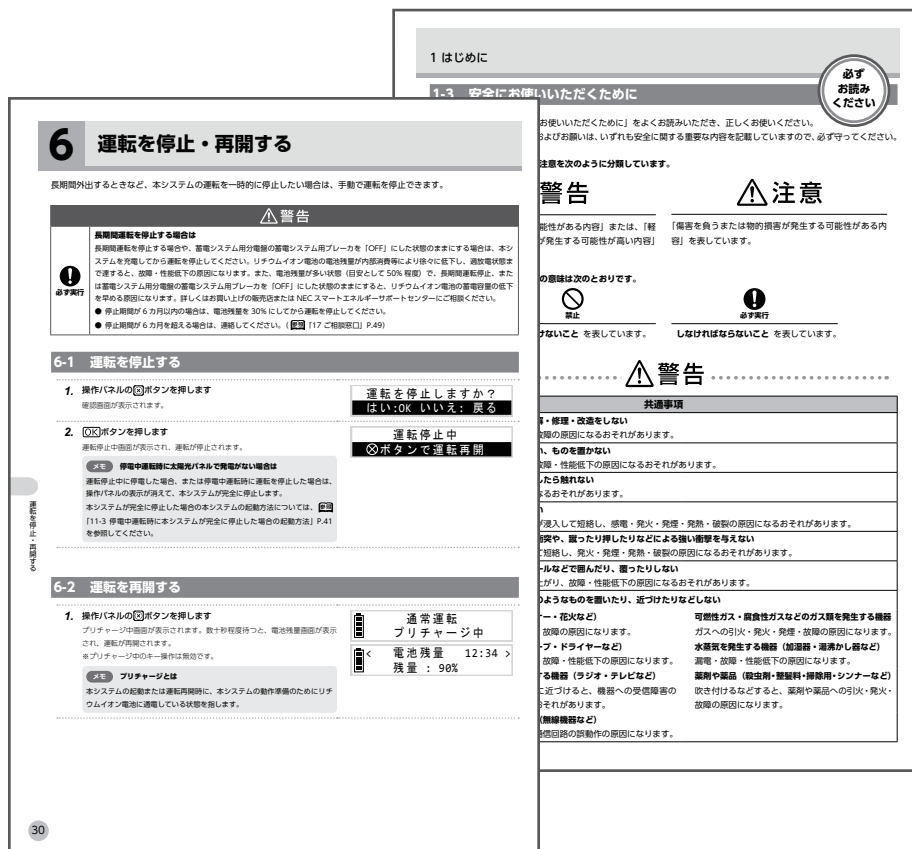


1 はじめに	P. 6
2 運転モードの種類	P.13
3 各部の名前とはたらき	P.18
4 設定を変更・確認する	P.20
設定メニューの種類	P.20
運転モードを変更する	P.22
ネットワークを設定する	P.25
ネットワーク接続を確認する	P.27
時計を設定する／装置情報を確認する	P.28
5 手動で充電する（マニュアル運転）	P.29
6 運転を停止・再開する	P.30
7 充放電・発電状態を確認する	P.31
8 ブラウザで設定・運転状態を確認する	P.33
9 電池容量の補正機能	P.38
10 操作パネルの乾電池を交換する	P.39
11 停電になったときは	P.40
12 故障かな？と思ったら	P.42
13 緊急時の対応	P.44
14 お手入れのしかた	P.46
15 仕様・外形寸法	P.47
16 用語集	P.48
17 ご相談窓口	P.49

このたびは、日本電気株式会社の製品をご購入いただきまして、
ありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。

本書の使いかた

小型蓄電システム ESS-P05004D0（以降「本システム」といいます）取扱説明書の使いかたを説明します。



必ず
お読み
ください

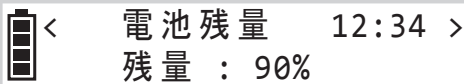
必ずお読みになっていただきたい内容を説明しています。

×モ

制約事項や補足事項などについて説明しています。

参照

参考事項や関連事項が説明されているページを記しています。



本システムの操作パネルに表示される画面を例示しています。
※表示される時間・残量・運転モード・電力などは状態により異なります。
実際の画面表示とは異なる場合があります。

必ず
お読み
ください

1 はじめに…P.6

本システムの特長や、安全にお使いいただくための注意事項、お願いなどを説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

- 1-1 本システムの特長…P.6
- 1-2 設置イメージ…P.7
- 1-3 安全にお使いいただくために…P.8
- 1-4 使用上のお願い…P.10
- 1-5 リチウムイオン電池に関するお願い…P.11
- 1-6 本システムの保有期間に関するお願い…P.11
- 1-7 ネットワークの接続について…P.12
- 1-8 電気製品の接続について…P.12

2 運転モードの種類…P.13

本システムの運転モードについて説明しています。ご使用の目的に合わせた最適な使いかたができます。

- 2-1 蓄電池運転モード…P.14
- 2-2 太陽光発電モード…P.16
- 2-3 そのほかの充放電動作…P.17

3 各部の名前とはたらき…P.18

操作パネルと蓄電ユニットの各部の名前とはたらきについて説明しています。

- 3-1 操作パネル…P.18
- 3-2 蓄電ユニット…P.19

4 設定を変更・確認する…P.20

運転モードの設定方法や、ネットワークの設定方法などについて説明しています。

- 4-1 設定メニューの種類…P.20
- 4-2 設定メニューを選択する…P.20
- 4-3 運転モード設定メニューの種類…P.21
- 4-4 運転モードを変更する…P.22
- 4-5 ネットワークを設定する…P.25
- 4-6 ネットワーク接続を確認する…P.27
- 4-7 時計を設定する…P.28
- 4-8 装置情報を確認する…P.28

5 手動で充電する（マニュアル運転）…P.29

手動で充電を開始・終了する手順を説明しています。

5-1 手動充電（マニュアル運転）を開始する…P.29

5-2 手動充電（マニュアル運転）を終了する…P.29

6 運転を停止・再開する…P.30

手動で本システムの運転を停止・再開する手順を説明しています。

6-1 運転を停止する…P.30

6-2 運転を再開する…P.30

7 充放電・発電状態を確認する…P.31

操作パネルで本システムの充放電・発電状態を確認する手順を説明しています。

8 ブラウザで設定・運転状態を確認する…P.33

ブラウザで本システムの充放電状態を確認する手順を説明しています。

8-1 接続状態と IP アドレスを確認する…P.33

8-2 確認 Web 画面を表示する…P.33

8-3 設定を変更する…P.35

9 電池容量の補正機能…P.38

電池容量の補正機能について説明しています。

10 操作パネルの乾電池を交換する…P.39

操作パネルの乾電池を交換する手順を説明しています。

11 停電になったときは…P.40

停電時の本システムの動作を説明しています。停電時には停電中運転に切り替わり、重要負荷の電気製品に電力を供給します。

11-1 停電時の本システムの動作…P.40

11-2 停電復旧時の本システムの動作…P.40

11-3 停電中運転時に本システムが完全に停止した場合の起動方法…P.41

12 故障かな？と思ったら…P.42

操作パネルの画面に表示されるエラーメッセージについて説明しています。

13 緊急時の対応…P.44

本システムに緊急停止が必要な異常が発生したときの対応方法について説明しています。

14 お手入れのしかた…P.46

本システムをお手入れする方法について説明しています。

15 仕様・外形寸法…P.47

本システムの仕様を説明しています。

15-1 仕様…P.47

15-2 外形寸法…P.47

16 用語集…P.48

本書で使用している用語について説明しています。

17 ご相談窓口…P.49

本システムに関するお問い合わせ・ご相談の窓口について説明しています。

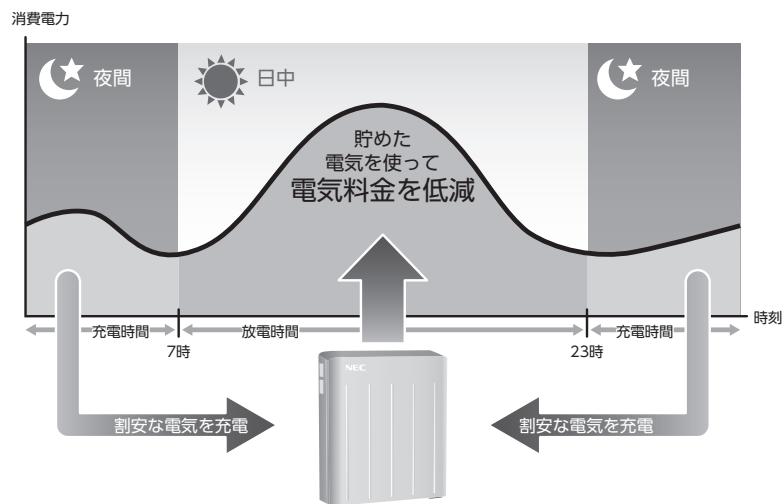
1

はじめに

1-1 本システムの特長

□電気代が割安な夜間に電気を貯めて、貯まった電気を昼間に使用

電気料金が安い夜間に電気を貯めて昼間に使えば、電気料金を低減することができます。本システムの蓄電容量は3.9kWhです。

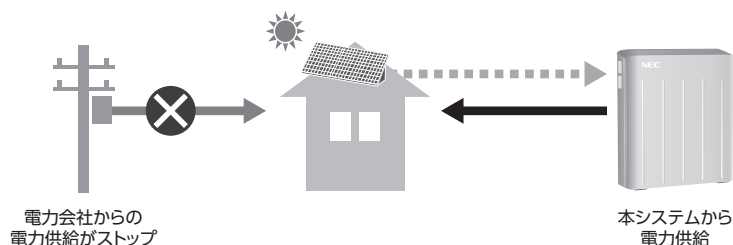


メモ 夜間の割安な電気について

夜間の割安な電気を利用するには、夜間時間帯の料金が割安になるプランを電力会社と個別に契約する必要があります。なお通常の「従量電灯」契約では、時間帯による電気料金は一定です。詳しくは、ご契約の電力会社へご相談ください。

□停電時には非常用電源として

停電時に本システムの電気を非常用電源として使用できます。



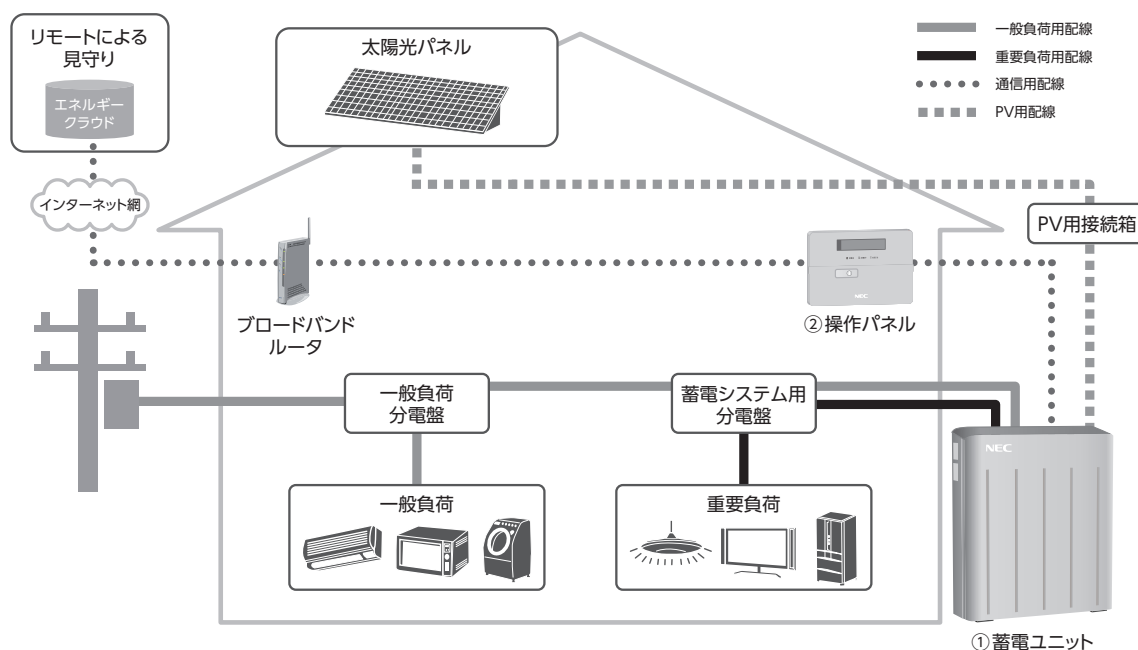
□24 時間 365 日、安心の見守り

NECのエネルギークラウドを活用して24時間365日、本システムの状況を把握します。システムの異常の監視・保護や、リモートからシステムの最適化を行いますので、安心してお使いいただけます。

□発電した電気を充電

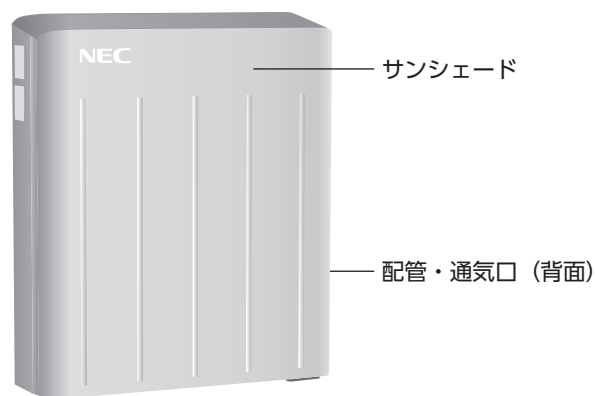
本システムはハイブリッド型パワーコンディショナを搭載しています。太陽光パネルで発電した電気を本システムに貯めることができ、毎日の電気代の節約になります。また、余った電気を電力会社に売ることもできます。

1-2 設置イメージ



①蓄電ユニット（屋外）

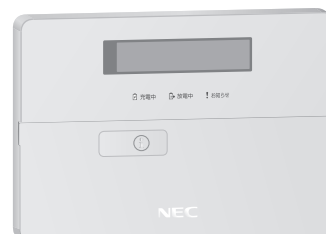
- 電気自動車やハイブリッド自動車にも採用され、高性能、高安全、長寿命が特長のリチウムイオン電池を内蔵しています。
- 防水・防火・防塵構造を採用し、高い安全性を確保しています。



②操作パネル（屋内）

- 本システムの動作状況を表示します。
- 運転モードや各種設定の変更・確認を行います。

操作パネルの詳しい使用方法は、[参照](#)「3-1 操作パネル」P.18 を参照してください。



1-3 安全にお使いいただくために

はじめに

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
ここに示した警告・注意事項およびお願いは、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本文中に使用している警告・注意を次のように分類しています。



警告

「死亡または重傷を負う可能性がある内容」または、「軽傷を負うまたは物的損害が発生する可能性が高い内容」を表しています。



注意

「傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性がある内容」を表しています。

本文中に使用している絵記号の意味は次のとおりです。



禁止

してはいけないこと を表しています。



必ず実行

しなければならないこと を表しています。



警告



禁止

共通事項

◆ご自身で分解・修理・改造をしない

感電・けが・故障の原因になるおそれがあります。

◆上に乗らない、ものを置かない

感電・けが・故障・性能低下の原因になるおそれがあります。

◆雷が鳴り出したら触れない

感電の原因になるおそれがあります。

◆冠水させない

装置内部に水が浸入して短絡し、感電・発火・発煙・発熱・破裂の原因になるおそれがあります。

◆車両などの衝突や、蹴ったり押したりなどによる強い衝撃を与えない

装置が変形して短絡し、発火・発煙・発熱・破裂の原因になるおそれがあります。

◆波板やビニールなどで囲んだり、覆ったりしない

内部の温度が上がり、故障・性能低下の原因になるおそれがあります。

◆周辺に以下のようなものを置いたり、近づけたりなどしない

火気（バーナー・花火など）

発火・発煙・故障の原因になります。

熱源（ストーブ・ドライヤーなど）

発火・発煙・故障・性能低下の原因になります。

電波を受信する機器（ラジオ・テレビなど）

操作パネルに近づけると、機器への受信障害の原因になるおそれがあります。

高周波機器（無線機器など）

制御回路や通信回路の誤動作の原因になります。

可燃性ガス・腐食性ガスなどのガス類が発生する機器
ガスへの引火・発火・発煙・故障の原因になります。

水蒸気が発生する機器（加湿器・湯沸かし器など）

漏電・故障・性能低下の原因になります。

薬剤や薬品（殺虫剤・整髪料・掃除用・シンナーなど）

吹き付けるなどすると、薬剤や薬品への引火・発火・故障の原因になります。

共通事項

◆以下のような異常がある場合は、蓄電ユニットから離れて、直ちに本システムを停止し、連絡する（[参照](#)「13 緊急時の対応」P.44）

- 異音・異臭がする場合
- 車両などが衝突して変形した場合
- 傾いたり、転倒した場合
- 冠水したり、冠水するおそれがある場合

感電・発火・発煙・発熱・破裂の原因になります。

蓄電ユニットから離れて、緊急停止方法に従って直ちに本システムを停止してから、お買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターにご連絡ください。

◆以下のような異常がある場合は連絡する（[参照](#)「17 ご相談窓口」P.49）

- 変形や割れ目などの破損箇所がある場合
- 故障して動かない場合

感電・発火・発煙・発熱の原因になるおそれがあります。

お買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターにご連絡ください。

◆長期間運転停止、または蓄電システム用分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした状態のままにする場合は、以下のとおり本システムを充電してから、運転を停止する（[参照](#)「6 運転を停止・再開する」P.30）

- 停止期間が 6 カ月以内の場合は、電池残量を 30% にしてから運転を停止する
- 停止期間が 6 カ月を超える場合は連絡する（[参照](#)「17 ご相談窓口」P.49）

リチウムイオン電池の電池残量が内部消費等により徐々に低下し、過放電状態まで達すると、故障・性能低下の原因になります。また、電池残量が多い状態（目安として 50% 程度）で、長期間運転停止、または蓄電システム用分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした状態のままにすると、リチウムイオン電池の蓄電容量の低下を早める原因になります。詳しくはお買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターにご相談ください。



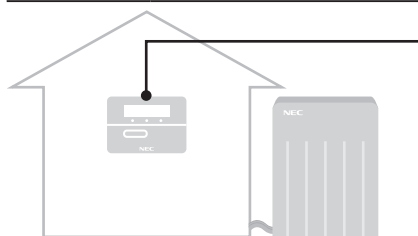
必ず実行

蓄電ユニット	
 禁止	◆通気口をふさがない 本システム内部の温度が上がり、故障の原因になるおそれがあります。 (通気口の箇所は、 参照 「3-2 蓄電ユニット」P.19 を参照してください。)
	◆サンシェード内部にも物を入れない 発火・発煙・発熱の原因になるおそれがあります。
配管	
 禁止	◆無理に引っ張ったり、曲げたり、切断したり、外したりなどしない 感電・漏電・故障の原因になります。
操作パネル	
 禁止	◆ぬらさない、ぬれた手で操作しない 内部に水が入り、感電・漏電・故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

共通事項

 禁止	◆お手入れの際などに、以下の洗剤・用品・機器などを使用しない（参照「14 お手入れのしかた」P.46） ※本システムの周辺（コンクリート基礎・壁など）を含む ●「酸性」の表示のある洗剤・洗浄剤・漂白剤 ●「アルカリ性」の表示のある洗剤・洗浄剤・漂白剤 ●薬品（塩酸・クエン酸など） ●溶剤（シンナー・アセトンなど） ●研磨材（クレンザー・みがき粉など） ●表面を削る可能性のある清掃用品（ネット付きスポンジ・不織布付きスポンジ・アルミ付きスポンジ・ナイロンたわし・金属たわし・布たわしなど） ●清掃機器（高圧洗浄機・スチーマーなど） 塗装がはがれたり、きず・変色・さびの原因になるおそれがあります。 ◆塗装しない 内部の温度が異常に上昇し、故障・性能低下の原因になるおそれがあります。 ◆子どもやペットを本システムの周囲で遊ばせない けがの原因になるおそれがあります。
 必ず実行	◆積雪時には除雪する 性能低下の原因になります。また、雪に覆われることにより本システムが隠れ、本システムへの接触事故の原因になるおそれがあります。



操作パネル

 禁止	◆古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しない（参照「10 操作パネルの乾電池を交換する」P.39） 乾電池の液漏れ・破裂の原因になるおそれがあります。
 必ず実行	◆乾電池に表示されている「使用推奨期限」を守り、同じ種類・同じ銘柄の新しい乾電池を使用する。（参照「10 操作パネルの乾電池を交換する」P.39） 乾電池の液漏れ・破裂の原因になるおそれがあります。

1-4 使用上のお願い

● 直射日光が当たらないようにしてお使いください。

周辺環境の変化によって直射日光が当たるようになった場合は、日よけ等を本体に当たらないように設置し、直接日光が当たらないようにしてお使いください。

● 本システムの周辺に、以下のスペースを確保してください。

本システムの点検・修理のため、メンテナンススペースが必要です。

- ・蓄電ユニット周辺 上 350mm 以上、左右 600mm 以上、前 400mm 以上、後 80mm 以上
- ・操作パネル周辺 上 250mm 以上、左右 30mm 以上、下 75mm 以上

● **高水準の信頼性を要求される機器・システムなどには接続しないでください。**

本システムは次のような機器・システムなどには接続しないでください。

- ・ 航空機器
- ・ 航空宇宙機器
- ・ 海底中継機器
- ・ 原子力制御システム
- ・ 生命維持のための医療機器またはシステム

● **本システムを無停電電源装置（UPS）として使用しないでください。**

本システムには停電時の無瞬断切り替え機能はありません。

● **次のような場合は、お買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターにご相談ください。**

（参照）「17 ご相談窓口」P.49）

■ **点検をご希望の際**

■ **増築する際**

本システムの点検・修理のためのメンテナンススペースの確保が必要です。

■ **移設・引っ越しの際**

移設先の設置場所確認や電力会社への手続きが必要です。移設先によっては使用できない場合があります。

■ **本システムと太陽光発電システムを併用する場合**

設置について条件があります。

■ **本システムと燃料電池や電気給湯器を併用する場合**

設置について条件があります。

● **その他ご不明な点は、お買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターにお問い合わせください。**

（参照）「17 ご相談窓口」P.49）

1-5 リチウムイオン電池に関するお願い

● **輸送について**

リチウムイオン電池は、国連（UN）の「危険物輸送に関する勧告」により、Class9 危険物に分類されています。本システムはリチウムイオン電池を内蔵していますので、本システムを海上輸送する場合はこの勧告を遵守してください。航空機での輸送はできません。

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。（参照）「17 ご相談窓口」P.49）

● **リサイクルについて**

本システムは、蓄電容量 3.9kWh のリチウムイオン電池を内蔵しています。リチウムイオン電池は、ニッケル・銅・アルミニウムなどの貴重な金属が使われていますので、限りあるこれらの資源を有効に使うために、リチウムイオン電池の回収・リサイクルにご協力をお願いします。使用済み製品の廃棄時には、お買い上げの販売店にお問い合わせください。なお、本システムに内蔵のリチウムイオン電池には、リサイクル促進のために、右記リサイクルマークと電池種別（Li-ion 10）を表示しています。



Li-ion 10

1-6 本システムの保有期間に関するお願い

「定置用リチウムイオン蓄電池導入支援事業費補助金」などを受給して、対象システムを購入した場合、所有者は本システムを法定耐用年数（6 年間）の期間、適切な管理・運用を図らなければなりません。その他の補助金を利用する場合は、受給条件などをご確認ください。

1 はじめに

1-7 ネットワークの接続について

はじめに

本システムは、NEC スマートエネルギーサポートセンターが見守り（動作状態のチェック、プログラムの更新）を行います。見守りには、お客様による**インターネット接続**が必須です。ご使用の前にご利用のネットワーク環境に合わせてブロードバンドルータへ接続してください。

ネットワークの設定・変更・確認は操作パネルで行えます。

- ネットワークを設定する（**参照**「4-5 ネットワークを設定する」P.25）
- ネットワーク接続を確認する（**参照**「4-6 ネットワーク接続を確認する」P.27）

メモ ネットワークに接続していないときは

ネットワーク接続を行わない場合、見守りができず、以下の機能をご利用になれません。詳細は保証内容をご確認ください。

- 本システムに異常が発生した場合に、異常からの復旧に向けたご案内ができません。
- 最新のプログラムのご提供ができず、本システムの追加機能等をご利用になれません。

1-8 電気製品の接続について

本システムで利用できる電気製品は**一般負荷**と**重要負荷**に分けられます。

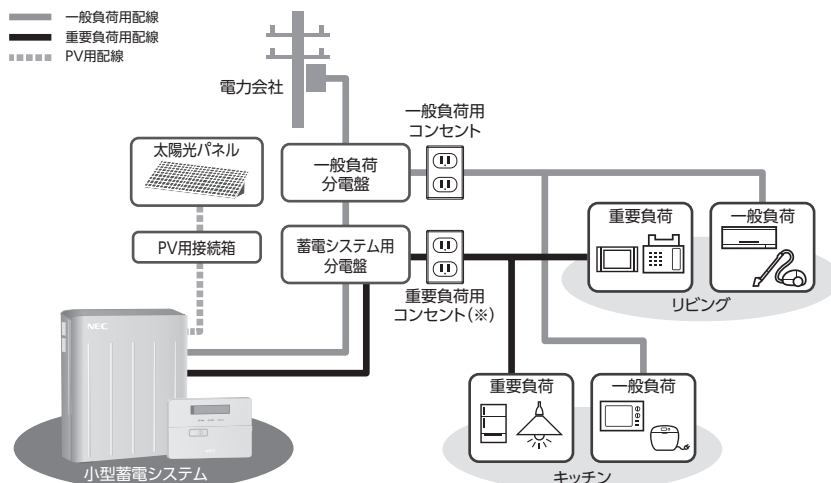
普段は電力会社から供給される電力と本システムの電力を使用して、一般負荷と重要負荷に電力を供給します。

停電時は、本システムの電力のみを使用して、重要負荷にのみ電力を供給します。

メモ 一般負荷／重要負荷とは

一般負荷：一般負荷用配線に接続された、重要負荷以外の電気製品を指します。

重要負荷：重要負荷用配線に接続された、停電時にも本システムの電力で利用できる電気製品を指します。



※重要負荷用コンセントの見分け方は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

メモ 重要負荷で使用する電気製品について

- 重要負荷で利用できる電力は**最大 1500W** です。

次の①、②のような電気製品を接続して 1500W を超える電力を消費した場合、本システムからの放電が停止する、または分電盤内のブレーカが落ちる可能性があります。（**参照**「12 故障かな？と思ったら」P.42）

①瞬間的に大きな電力を消費する電気製品（ドライヤーなど） ②消費電力が大きな電気製品（IH ヒーター、電気ストーブなど）

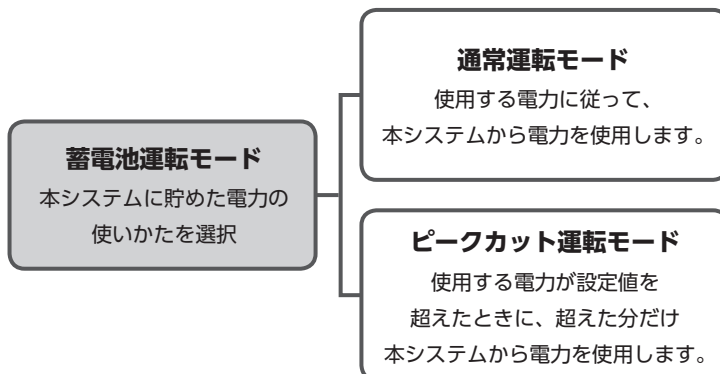
- 停電時は、本システムのモード切り替えにより、重要負荷の電気が数秒ほど切れます（**参照**「11 停電になったときは」P.40）。そのため、重要負荷でご使用の電気製品によっては、動作が停止する、時計がリセットされる、初期化されるなどの可能性があります。電気製品の動作が停止した場合は、もう一度電気製品の電源を入れてください。

2

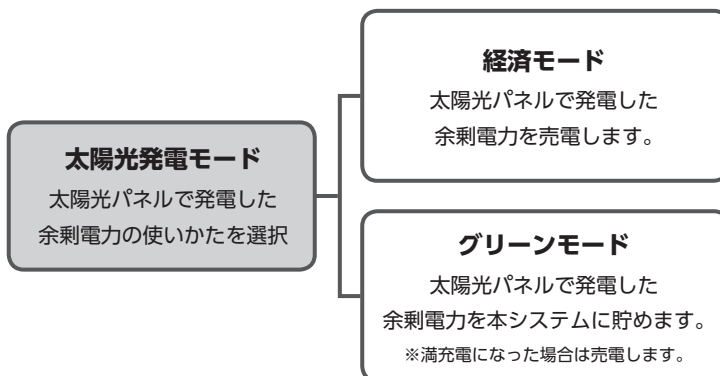
運転モードの種類

本システムでは電気の使用方法に合わせて、運転モードを選択できます。電気使用状況に合わせて、適切なモードを選択してください。

本システムの放電動作は、**蓄電池運転モード**で選択できます。



太陽光パネルで発電した余剰電力の活用方法は、**太陽光発電モード**で選択できます。



2 運転モードの種類

2-1 蓄電池運転モード

本システムの放電動作（消費電力に従って使用する／設定値を超えた分だけ使用する）を選択できます。

メモ 放電中に消費電力が契約電力を超えている場合

本システムの放電電力と電力会社からの買電電力の合計電力量が、電力会社との契約により使用できる電力量（※ 1）を超えているときに、本システムからの放電が停止（※ 2）すると、電力会社からの買電電力が多くなり、分電盤のブレーカが落ちることがあります。分電盤のブレーカが落ちた場合は、電気の使い過ぎが考えられますので、使用する電気を減らしてください。

※ 1 詳細は電力会社との契約内容をご確認ください。

※ 2 電池残量が 0% になる、充電開始時刻になる、または停電中運転用電池残量に達すると、本システムからの放電が停止します。

□ 通常運転モード

設定した**充電時間**に充電し、**放電時間**の消費電力に従って、本システムに貯めた電力を使用（※）します。

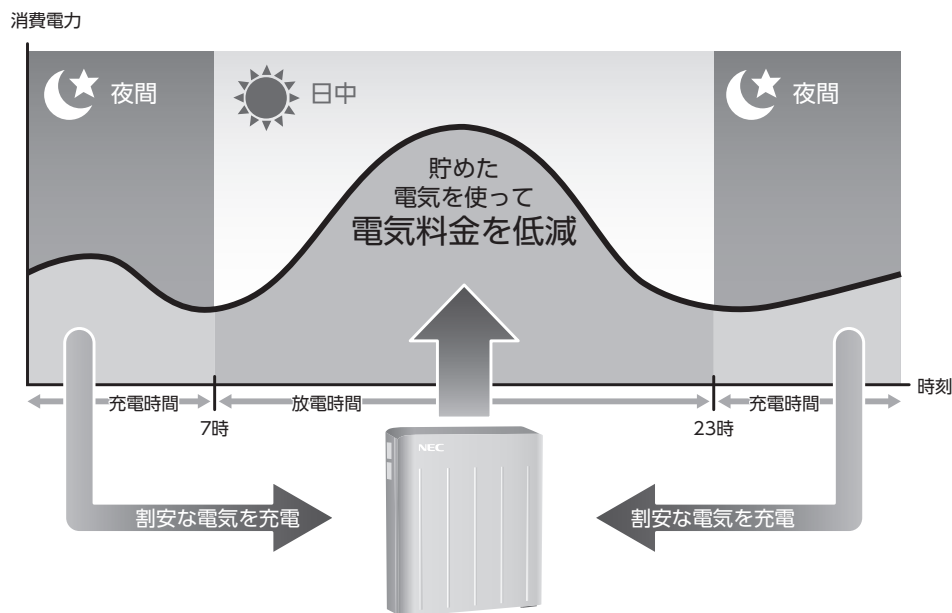
設定方法は【参照】「通常運転モードに設定する」P.22 を参照してください。

放電中には系統への逆潮流を防止するために本システムからは使用電力量（太陽光パネルから供給されている電力量は除く）の約 95% を放電し、残り約 5% は買電します。

使用例 充電開始時刻 23 時／放電開始時刻 7 時

〈夜間〉 割安な電気を使用して充電します。

〈日中〉 消費電力に従って、本システムに貯めた電気を一部または全部利用します。これにより、電気料金を低減します。



メモ 充電時間／放電時間とは

充電時間：充電開始時刻から放電開始時刻までの、電力を充電する時間です。

放電時間：放電開始時刻から充電開始時刻までの、電力を放電する時間です。

メモ 夜間の割安な電気について

夜間の割安な電気を利用するには、夜間時間帯の料金が割安になるプランを電力会社と個別に契約する必要があります。なお通常の「従量電灯」契約では、時間帯による電気料金は一定です。詳しくは、ご契約の電力会社へご相談ください。

□ ピークカット運転モード

消費電力が設定値を超えた場合に、超過した分だけ本システムに貯めた電力を使用（※）します。これにより、電力会社からの買電を設定値以下に抑えます。ただし、本システムに貯めた電気を使い切った場合、設定値を超えた分も電力会社からの電力で補います。

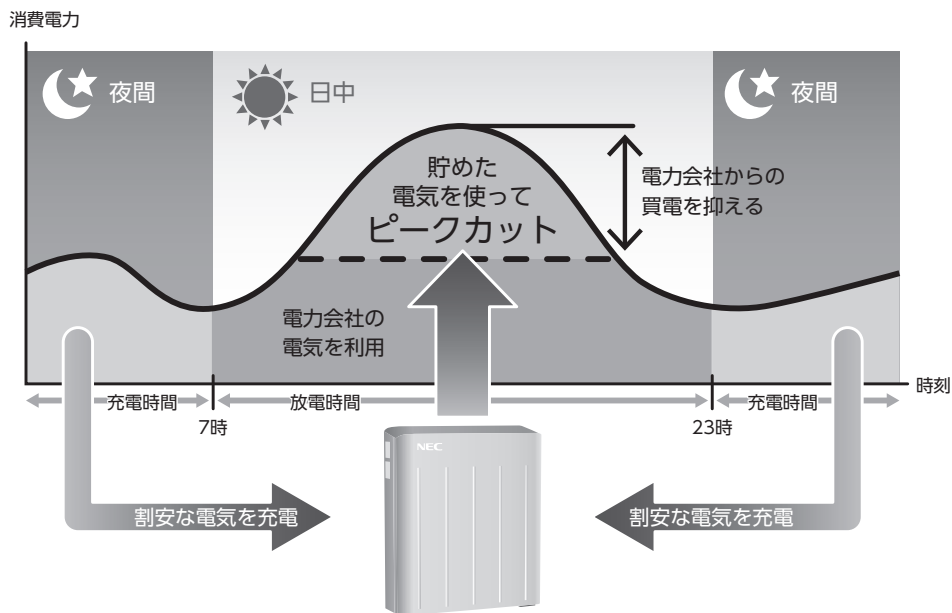
設定方法は【参照】「ピークカット運転モードに設定する」P.23【参照】してください。

【注】電中には系統への逆潮流を防止するために本システムからは使用電力量（太陽光パネルから供給されている電力量は除く）の約 95% までを放電し、残り約 5% は買電します。

使用例 充電開始時刻 23 時／放電開始時刻 7 時

〈夜間〉 割安な電気を使用して充電します。

〈日中〉 消費電力が設定値を超える場合に、その超過した電力分を本システムに貯めた電気から利用します。これにより、電力会社からの買電を設定値以下に抑えます。



メモ 夜間の割安な電気について

夜間の割安な電気を利用するには、夜間時間帯の料金が割安になるプランを電力会社と個別に契約する必要があります。なお通常の「従量電灯」契約では、時間帯による電気料金は一定です。詳しくは、ご契約の電力会社へご相談ください。

2 運転モードの種類

2-2 太陽光発電モード

太陽光パネルで発電した余剰電力をどのように活用するか（売る／貯める）を選択できます。

□ 経済モード

太陽光パネルで発電した電気を使用し、電気が余った場合は電力会社に売電（※）します。

設定方法は  「通常運転モードに設定する」 P.22 または 「ピークカット運転モードに設定する」 P.23 を参照してください。

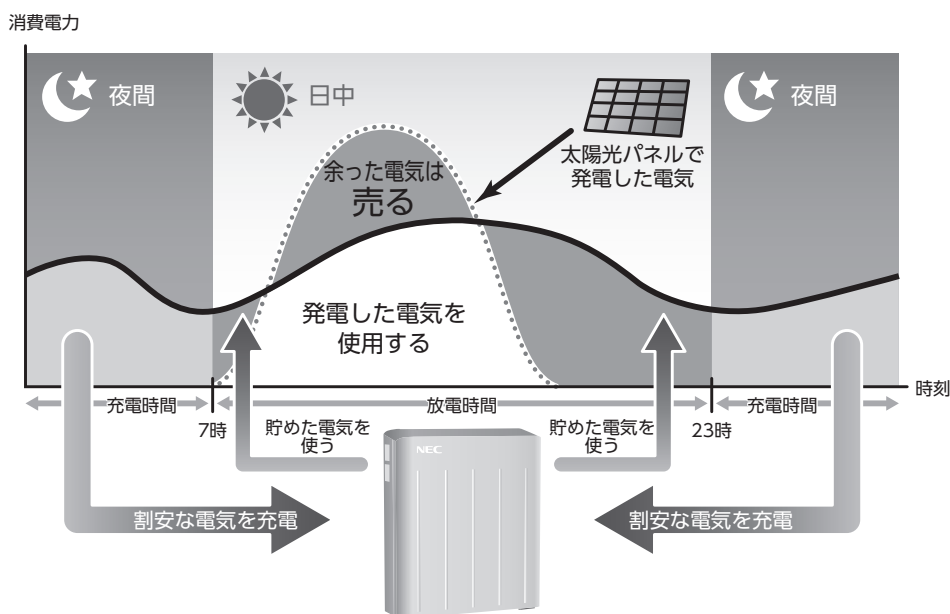
※太陽光パネルで発電した余剰電力の売電中は、本システムに貯めた電気は放電しません。



使用例 充電開始時刻 23 時／放電開始時刻 7 時

〈夜間〉 割安な電気を使用して充電します。

〈日中〉 太陽光パネルで発電した電気を使用し、電気が余った場合は電力会社に売電します。



メモ 夜間の割安な電気について

夜間の割安な電気を利用するには、夜間時間帯の料金が割安になるプランを電力会社と個別に契約する必要があります。なお通常の「従量電灯」契約では、時間帯による電気料金は一定です。詳しくは、ご契約の電力会社へご相談ください。

□グリーンモード

太陽光パネルで発電した電気を使用し、電気が余った場合は本システムに充電します。

なお、本システムが満充電になったときは、電力会社に売電（※）します。

設定方法は [参照](#) 「通常運転モードに設定する」 P.22 または「ピークカット運転モードに設定する」 P.23 を参照してください。

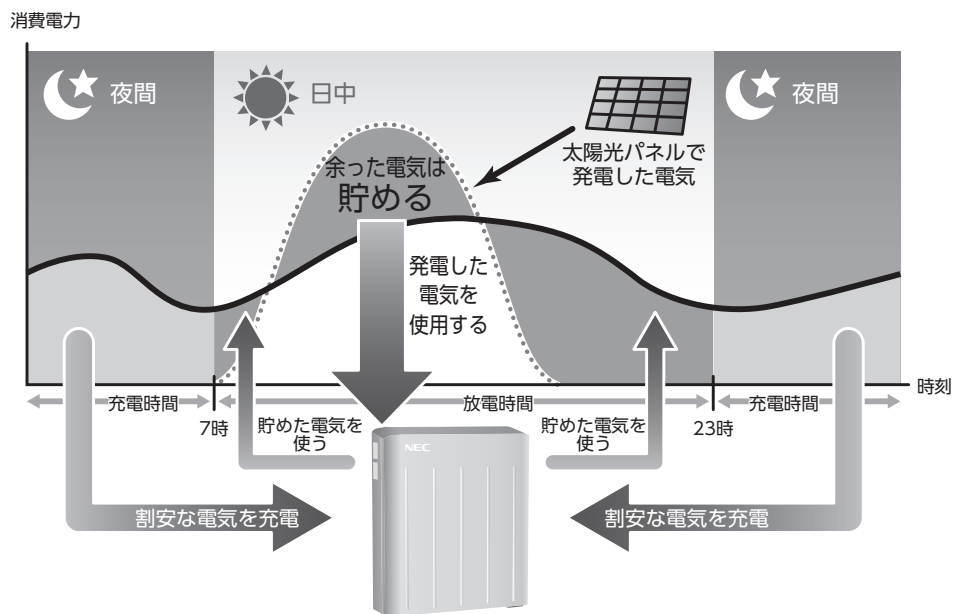


※太陽光パネルで発電した余剰電力の売電中は、本システムに貯めた電気は放電しません。

使用例 充電開始時刻 23 時／放電開始時刻 7 時

〈夜間〉 割安な電気を使用して充電します。

〈日中〉 太陽光パネルで発電した電気を使用し、電気が余った場合は本システムに充電します。
本システムが満充電に達した場合は、余った電気を電力会社に売電します。



メモ 夜間の割安な電気について

夜間の割安な電気を利用するには、夜間時間帯の料金が割安になるプランを電力会社と個別に契約する必要があります。なお通常の「従量電灯」契約では、時間帯による電気料金は一定です。詳しくは、ご契約の電力会社へご相談ください。

2-3 そのほかの充放電動作

□マニュアル運転

計画停電等に備え、あらかじめ本システムを充電しておきたいときに使用します。

操作パネルの [図](#) ボタンを押すと、運転モードにかかわらず充電を開始します。

詳しくは [参照](#) 「5-1 手動充電（マニュアル運転）を開始する」 P.29 を参照してください。

□停電中運転

停電が発生した場合、本システムは停電を検知して自動的に停電中運転に切り替わります。

停電中は重要負荷の電気製品に対して、本システムに貯めた電力を放電します。

停電が復旧すると、自動的に停電発生前の運転モードに戻ります。

詳しくは [参照](#) 「11 停電になったときは」 P.40 を参照してください。

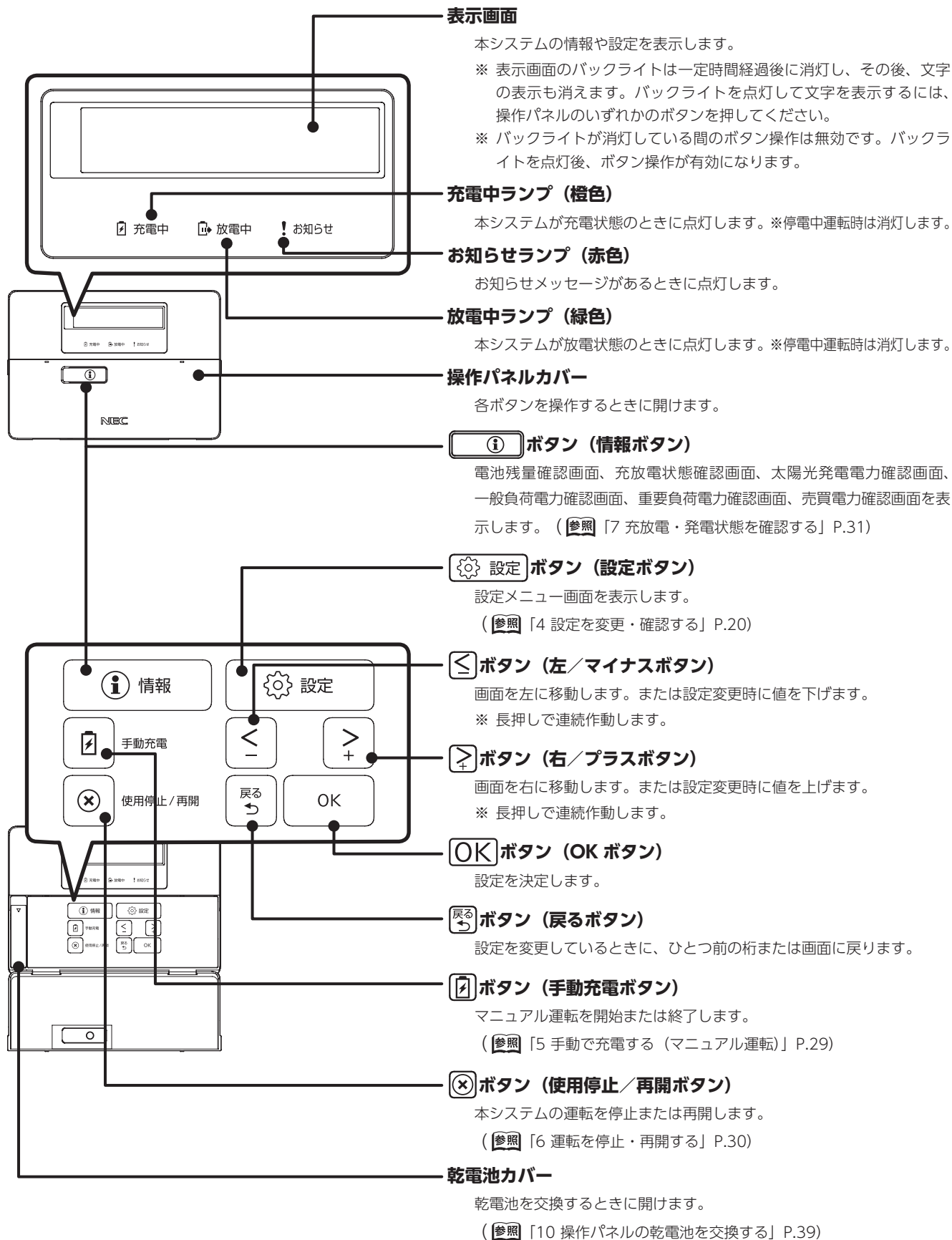
3

各部の名前とはたらき

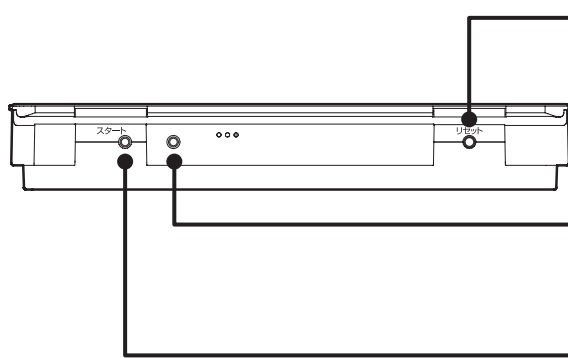
3-1 操作パネル

□ 前面

操作パネルで本システムの情報を確認したり、設定を変更したりできます。



□ 底面



リセットスイッチ

本システムに異常が発生したときなど、本システムの再起動が必要となった場合に使用します。

※ お買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターより指示があった場合に操作してください。

メンテナンススイッチ

保守時に使用します。

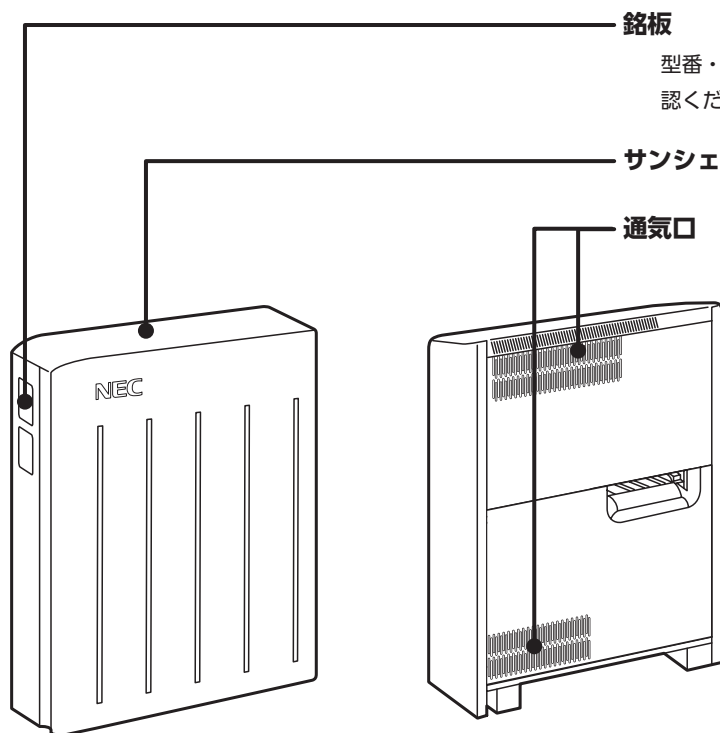
※ 通常のご使用時には、操作を受け付けません。

スタートスイッチ

停電時に本システムが停止した場合に、本システムを起動するために使用します。(参照「11 停電になったときは」 P.40)

各部の名前とはたらき

3-2 蓄電ユニット



銘板

型番・製造番号などが記載されています。お問い合わせの際などにご確認ください。

サンシェード

通気口

4

設定を変更・確認する

操作パネルの  ボタンを押すと、以下の設定メニューを変更・確認できます。手順に従って設定メニューを選択してから、それぞれの設定を変更・確認してください。

メモ ブラウザで設定を確認するには

お手持ちのパソコンなどを使用して、設定や充放電状態を確認することもできます。詳細は、 「8 ブラウザで設定・運転状態を確認する」P.33 を参照してください。

4-1 設定メニューの種類

以下のメニューを設定できます。

設定メニュー ＜ 運転モード設定 ＞	運転モードの変更を行います。 ( 「4-4 運転モードを変更する」 P.22)
設定メニュー ＜ ネットワーク設定 ＞	ネットワークに接続するための設定を行います。 ( 「4-5 ネットワークを設定する」 P.25)
設定メニュー ＜ ネットワーク接続確認 ＞	ネットワークに接続できているかを確認します。 ( 「4-6 ネットワーク接続を確認する」 P.27)
設定メニュー ＜ 時計設定 ＞	日付と時刻を設定します。 ( 「4-7 時計を設定する」 P.28)
設定メニュー ＜ 装置情報確認 ＞	装置の製造番号とプログラムのバージョンを確認します。 ( 「4-8 装置情報を確認する」 P.28)

4-2 設定メニューを選択する

1. 操作パネルの ボタンを押します

設定メニュー画面が表示されます。

2. ボタンを押し、目的の設定メニューを選択します

  ボタンを押すごとに、設定メニューが切り替わります。

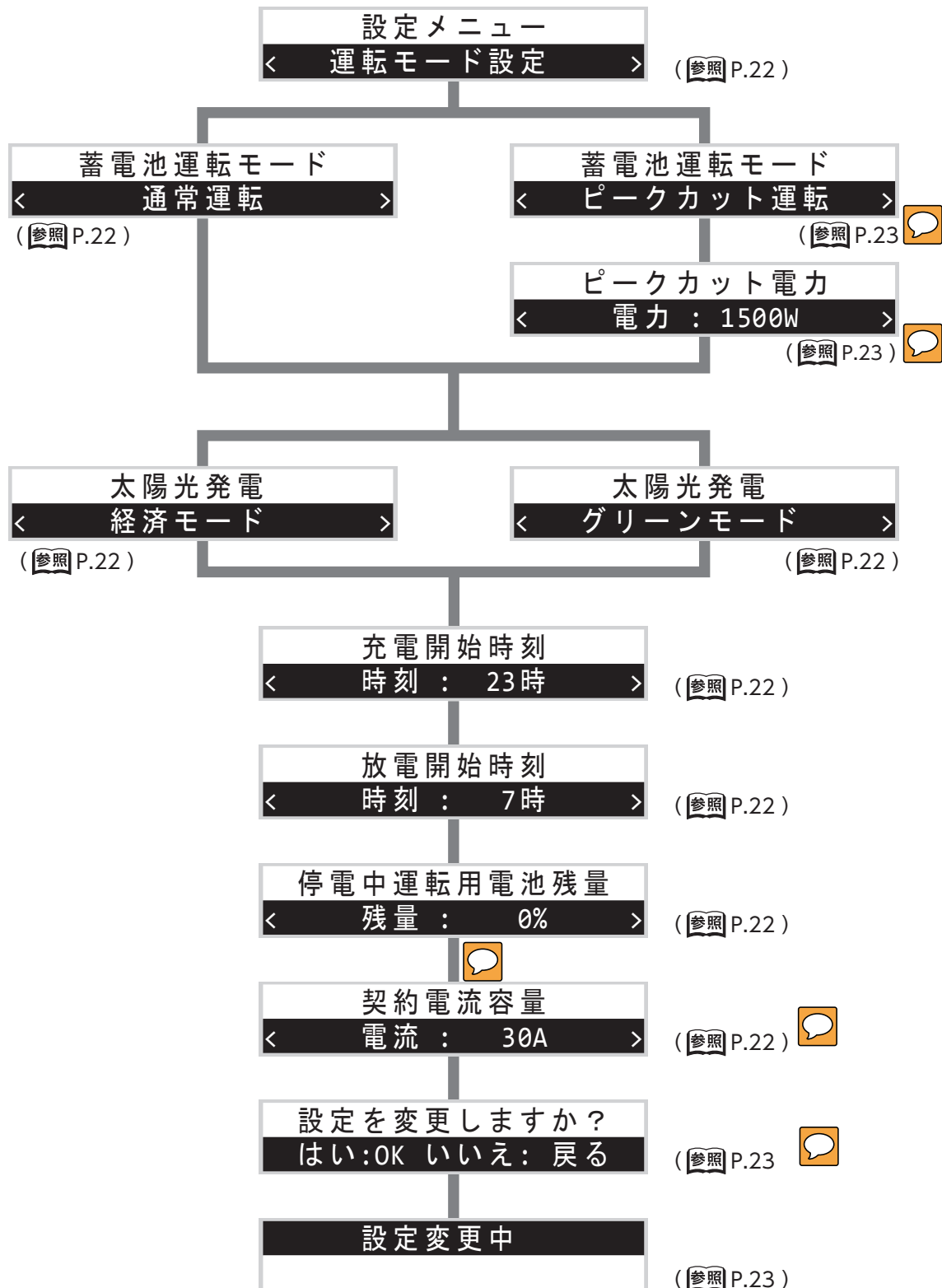
3. ボタンを押します

選択した設定メニューの画面に切り替わります。



4-3 運転モード設定メニューの種類

運転モードは以下のような画面の流れに従って設定します。詳しい設定方法は、[\[参照\]](#)「4-4 運転モードを変更する」P.22を参照してください。



4 設定を変更・確認する

4-4 運転モードを変更する

運転モードでは、蓄電池運転モード（通常運転モード／ピークカット運転モード）、太陽光発電モード（経済モード／グリーンモード）を設定できます。各モードの詳細は、[参照](#)「2 運転モードの種類」P.13 を参照してください。

□ 通常運転モードに設定する

設定した充電時間に充電し、放電時間の消費電力量に従って、本システムに貯めた電力を使用します。

1. 設定メニュー画面で $\left[\begin{smallmatrix} \text{設定} \\ \text{メニュー} \end{smallmatrix} \right]$ ボタンを押して「運転モード設定」を選択し、 $\left[\text{OK} \right]$ ボタンを押します

蓄電池運転モード画面が表示されます。

設定メニュー
＜ 運転モード設定 ＞

2. $\left[\begin{smallmatrix} \text{蓄電池} \\ \text{運転モード} \end{smallmatrix} \right]$ ボタンを押して「通常運転」を選択し、 $\left[\text{OK} \right]$ ボタンを押します

蓄電池運転モード
＜ 通常運転 ＞

3. $\left[\begin{smallmatrix} \text{太陽光} \\ \text{発電} \end{smallmatrix} \right]$ ボタンを押して「経済モード」または「グリーンモード」を選択し、 $\left[\text{OK} \right]$ ボタンを押します

太陽光発電
＜ 経済モード ＞

太陽光発電
＜ グリーンモード ＞

4. $\left[\begin{smallmatrix} \text{充電開始} \\ \text{時刻} \end{smallmatrix} \right]$ ボタンを押して充電開始時刻を選択し、 $\left[\text{OK} \right]$ ボタンを押します

時刻は 0 時から 23 時までを、1 時間単位で選択できます。

充電開始時刻
＜ 時刻 : 23 時 ＞

5. $\left[\begin{smallmatrix} \text{放電開始} \\ \text{時刻} \end{smallmatrix} \right]$ ボタンを押して放電開始時刻を選択し、 $\left[\text{OK} \right]$ ボタンを押します

時刻は 0 時から 23 時までを、1 時間単位で選択できます。

放電開始時刻
＜ 時刻 : 7 時 ＞

メモ 充電開始時刻と放電開始時刻の設定

充電開始時刻と放電開始時刻を同じ時刻に設定すると、常に放電時間となり、電力会社から供給される電力を使用して充電されなくなります。
長期間充電されないと、本システムに内蔵されているリチウムイオン電池が過放電状態に達し、故障・性能低下の原因になります。

6. $\left[\begin{smallmatrix} \text{停電中} \\ \text{運転用電池残量} \end{smallmatrix} \right]$ ボタンを押して停電中運転用電池残量を選択し、 $\left[\text{OK} \right]$ ボタンを押します

残量は 0% から 30% までを、10% 単位で選択できます。

停電中運転用電池残量
＜ 残量 : 0% ＞

メモ 停電中運転用電池残量とは

停電などの際の停電中運転時に備えて、本システムに確保しておく電池残量のことをいいます。本システムの運転中に、停電中運転用電池残量で設定した値まで電池残量が低下すると、放電が停止します。

4 設定を変更・確認する



7. [設定] ボタンを押して契約電流容量を選択し、[OK] ボタンを押します

電流は 10A から 120A までを、10A 単位で選択できます。

契約電流容量の設定値の選択方法については、[参照](#)「契約電流容量の設定値の選択方法について」P.25 を参照してください。

契約電流容量	
<	電流 : 30A
>	

メモ 契約電流容量とは

使用できる電流の上限値のことをいい、電力会社との契約により決定します。電力会社との契約を変更した場合は、本システムの設定値も変更する必要があります。

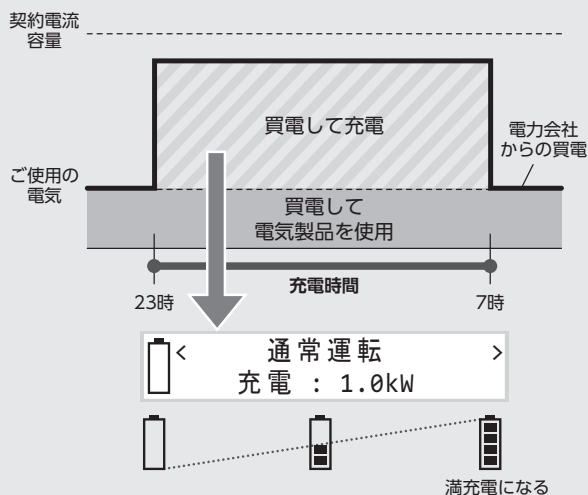
メモ 本システムへの充電について

ご使用の電気製品と、本システムの充電に使用する電気の合計が契約電流容量の設定値に達した場合、この設定値を超えないように本システムの充電量は抑えられます。この場合、充電に時間がかかり、設定した放電開始時刻までに満充電にならないことがあります。ご不明な点がございましたら、NEC スマートエネルギーサポートセンターまでお問い合わせください。

充電時の動作例：充電開始時刻 23 時 / 放電開始時刻 7 時

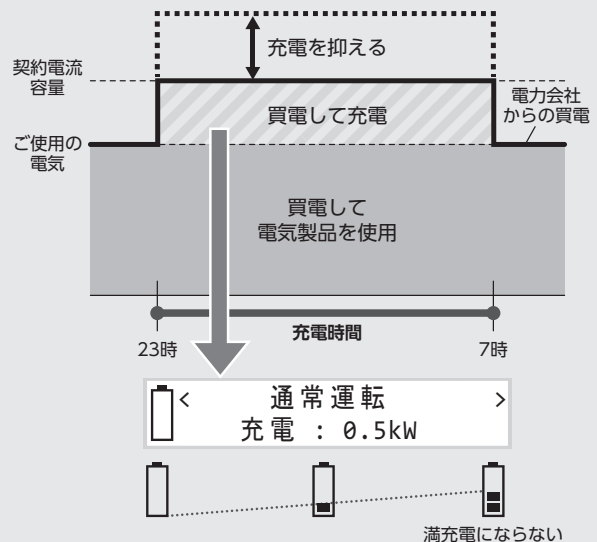
●ご使用の電気が少ない場合

→翌朝満充電になる



●ご使用の電気が多い場合

→翌朝満充電にならない



8. [確認] 画面が表示されたら、[OK] ボタンを押します

設定変更中のメッセージが表示され、設定が保存されると設定メニュー画面に戻ります。

[戻る] ボタンを押すと、設定が変更されずにひとつ前の画面に戻ります。

設定を変更しますか？
はい:OK いいえ: 戻る

設定変更中



□ピークカット運転モードに設定する

消費電力が設定値を超えた場合に、超過した分だけ本システムに貯めた電気から利用します。これにより、電力会社から買う電力を設定値以下に抑えます。ただし、本システムに貯めた電気を使い切った場合、設定値を超えた分も電力会社からの電力を使用します。

1. 設定メニュー画面で [設定] ボタンを押して「運転モード設定」を選択し、[OK] ボタンを押します

蓄電池運転モード画面が表示されます。

設定メニュー	
<	運転モード設定
>	

設定を変更・確認する…運転モードを変更する

4 設定を変更・確認する

2.   ボタンを押して「ピークカット運転」を選択し、 ボタンを押します

蓄電池運転モード
＜ ピークカット運転 ＞

3.   ボタンを押してピークカット電力を選択し、 ボタンを押します

電力は 0W から 16000W までを、500W 単位で選択できます。

ピークカット電力
＜ 電力 : 1500W ＞

4.   ボタンを押して「経済モード」または「グリーンモード」を選択し、 ボタンを押します

太陽光発電
＜ 経済モード ＞

太陽光発電
＜ グリーンモード ＞

5.   ボタンを押して充電開始時刻を選択し、 ボタンを押します
時刻は 0 時から 23 時までを、1 時間単位で選択できます。

充電開始時刻
＜ 時刻 : 23 時 ＞

6.   ボタンを押して放電開始時刻を選択し、 ボタンを押します
時刻は 0 時から 23 時までを、1 時間単位で選択できます。

放電開始時刻
＜ 時刻 : 7 時 ＞

7.   ボタンを押して停電中運転用電池残量を選択し、 ボタンを押します

残量は 0% から 30% までを、10% 単位で選択できます。

停電中運転用電池残量
＜ 残量 : 0% ＞

8.    ボタンを押して契約電流容量を選択し、 ボタンを押します
電流は 10A から 120A までを、10A 単位で選択できます。

契約電流容量の設定値については、 「契約電流容量の設定値の選択方法について」 P.25 を参照してください。

 契約電流容量
＜ 電流 : 30A ＞

9.  確認画面が表示されたら、 ボタンを押します
設定変更中のメッセージが表示され、設定が保存されると設定メニュー画面に戻ります。

 ボタンを押すと、設定が変更されずにひとつ前の画面に戻ります。

設定を変更しますか？
はい:OK いいえ: 戻る
設定変更中

□ 契約電流容量の設定値の選択方法について

契約電流容量の設定値の選択方法は、アンペアブレーカ(※)の有無によって異なります。電力会社との契約内容を確認し、設定値を選択してください。

※アンペアブレーカはリミッター、サービスブレーカなどとも呼ばれます。

■ アンペアブレーカがある場合

アンペアブレーカの容量と同値以下で最大の設定値を選択してください。

設定例：

アンペアブレーカ容量	契約電流容量
10A	10A
15A	10A
20A	20A
30A	30A
40A	40A
50A	50A
60A	60A

■ アンペアブレーカがない場合

主幹ブレーカの容量と同値以下で最大の設定値を選択してください。

設定例：

主幹ブレーカ容量	契約電流容量
15A	10A
20A	20A
30A	30A
40A	40A
50A	50A
60A	60A
75A	70A
80A	80A
100A	100A
125A 以上	120A

ご不明な点がございましたら、NEC スマートエネルギーサポートセンターまでお問い合わせください。

4-5 ネットワークを設定する

本システムは、NEC スマートエネルギーサポートセンターにて見守りを行うため、お客様によるインターネット接続が必須となります。ご使用前にご利用のネットワーク環境に合わせてブロードバンドルータに接続し、本システムのネットワーク設定を行ってください。

1. 設定メニュー画面で  ボタンを押して「ネットワーク設定」を選択し、 ボタンを押します

DHCP 設定画面が表示されます。



2.  ボタンを押して DHCP 設定の「有効」または「無効」を選択し、 ボタンを押します

- 「有効」を選択した場合 … ご利用のネットワーク環境が DHCP に対応している場合、自動でネットワーク接続のための設定が行われます。**手順 6**に進んでください。
- 「無効」を選択した場合 … 手動で詳細なネットワーク設定を行います。**手順 3**に進んでください（**手順 6**の DNS モードは自動的に「手動」が設定され、**手順 7**に進みます）。



メモ DHCP とは

Dynamic Host Configuration Protocol（ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル）の略で、IP アドレスなどのネットワーク接続に必要な設定が自動的に割り当てられる仕組みです。詳細なネットワーク設定を手動で行わなくてもすぐに適切な設定で接続することができます。

4 設定を変更・確認する

3. 手順2で「無効」を選択した場合

有線 LAN IP アドレスを入力します

選択されている桁で   ボタンを押すと、数値が増減します。

 ボタンを押すと、数値が確定され、次の桁が選択されます。

最終桁で  ボタンを押すと、入力した数値が確定されます。

メモ

以下のアドレスは本システムの予約アドレスですので選択しないでください。
「192.168.253.XXX」

※選択した場合、設定画面で  ボタンを押しても、有線 LAN IP アドレス
が変更されません（設定変更前の設定値のままとなります）。

有線 LAN IP アドレス

192.168.001.001

4. 手順2で「無効」を選択した場合

サブネットマスクを入力します

選択されている桁で   ボタンを押すと、数値が増減します。

 ボタンを押すと、数値が確定され、次の桁が選択されます。

最終桁で  ボタンを押すと、入力した数値が確定されます。

サブネットマスク

255.255.255.000

5. 手順2で「無効」を選択した場合

デフォルトゲートウェイを入力します

選択されている桁で   ボタンを押すと、数値が増減します。

 ボタンを押すと、数値が確定され、次の桁が選択されます。

最終桁で  ボタンを押すと、入力した数値が確定されます。

デフォルトゲートウェイ

192.168.001.254

6. 手順2で「有効」を選択した場合

  ボタンを押して DNS モードの「自動」または「手動」を選択し、
 ボタンを押します

- 「自動」を選択した場合 … 自動で設定が行われます。**手順9**に進んでください。
- 「手動」を選択した場合 … 手動で DNS アドレスの設定を行います。**手順7**
に進んでください。

メモ DNS とは

Domain Name System（ドメイン ネーム システム）の略で、インターネット上でドメイン名やホスト名と IP アドレスの対応を管理する仕組みです。

DNS モード

<

自動

>

7. 手順2で「無効」を選択した場合、または手順6で「手動」を選択した場合

プライマリ DNS アドレスを入力します

選択されている桁で   ボタンを押すと、数値が増減します。

 ボタンを押すと、数値が確定され、次の桁が選択されます。

最終桁で  ボタンを押すと、入力した数値が確定されます。

プライマリ DNS アドレス

192.168.001.001

8. 手順2で「無効」を選択した場合、または手順6で「手動」を選択した場合

セカンダリ DNS アドレスを入力します

選択されている桁で   ボタンを押すと、数値が増減します。

 ボタンを押すと、数値が確定され、次の桁が選択されます。

最終桁で  ボタンを押すと、入力した数値が確定されます。

セカンダリ DNS アドレス

192.168.001.001

9. 設定変更の確認画面が表示されたら、[OK]ボタンを押します

設定変更中画面が表示され、設定メニュー画面に戻ります。

[戻る]ボタンを押すと、設定が変更されずにひとつ前の画面に戻ります。

設定を変更しますか？
はい:OK いいえ: 戻る

設定変更中

4-6 ネットワーク接続を確認する

本システムに設定されている有線 LAN の IP アドレスや、ネットワークの接続状態を確認できます。

1. 設定メニュー画面で[設定]ボタンを押して「ネットワーク接続確認」を選択し、[OK]ボタンを押します

設定メニュー
< ネットワーク接続確認 >

2. [戻る]ボタンを押して確認したい項目を選択します

[戻る]ボタンを押すと、設定メニュー画面に戻ります。

有線 LAN IP アドレス
< 192.168.001.001 >

□ 確認できる項目

■ 有線 LAN IP アドレス

現在設定されている有線 LAN IP アドレスを確認できます。

有線 LAN IP アドレス
< 192.168.001.001 >

メモ 「アドレス取得中」が表示された場合

LAN ケーブルが接続されておらず、DHCP 設定が有効の場合に表示されます。ネットワークの接続・設定を確認してください。

有線 LAN IP アドレス
< アドレス取得中 >

メモ 「設定アドレス重複」が表示された場合

設定した有線 LAN IP アドレスが他の機器と重複している場合に表示されます。ネットワークの設定を確認してください。

有線 LAN IP アドレス
< 設定アドレス重複 >

■ 上位サーバー接続状態

上位サーバーとの接続状態を確認できます。画面で「接続:OK」が表示されていることを確認してください。

上位サーバー接続状態
< 接続:OK >

メモ 「接続:NG」が表示された場合は

● ご利用のブロードバンドルータの接続を確認してください（パソコン等でインターネットに接続できるか確認してください）。

問題があれば、加入しているプロバイダーにご相談ください。

● インターネット接続に問題がない場合、お買い上げの販売店、または NEC スマートエネルギーサポートセンターにお問い合わせください。（参照）「17 ご相談窓口」P.49

上位サーバー接続状態
< 接続:NG >

■ MAC アドレス

システムコントローラーの MAC アドレスを確認できます。

MAC アドレス
< 00-25-5C-12-34-56 >

4 設定を変更・確認する

4-7 時計を設定する

日付と時刻を設定できます。ネットワークに接続されていない場合など、日付と時刻がずれたときに設定します。

1. 設定メニュー画面で $\leftarrow$ $\rightarrow$ ボタンを押して「時計設定」を選択し、 OK ボタンを押します

時計設定画面が表示されます。

設定メニュー
時計設定

2. 日付と時刻を入力します

選択されている桁で $\leftarrow$ $\rightarrow$ ボタンを押すと、数値が増減します。

OK ボタンを押すと、数値が確定され、次の桁が選択されます。

最終桁で OK ボタンを押すと、入力した数値が確定されます。

時計設定
2014/11/04 23:10:31

3. 確認画面が表示されたら、 OK ボタンを押します

時計が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

戻る ボタンを押すと、設定が変更されずにひとつ前の画面に戻ります。

時計を設定しますか？
はい:OK いいえ:戻る

4-8 装置情報を確認する

本システムの製造番号とプログラムのバージョンを確認できます。

1. 設定メニュー画面で $\leftarrow$ $\rightarrow$ ボタンを押して「装置情報確認」を選択し、 OK ボタンを押します

設定メニュー
装置情報確認

2. $\leftarrow$ $\rightarrow$ ボタンを押して確認したい項目を選択します

戻る ボタンを押すと、設定メニュー画面に戻ります。

装置製造番号
1234567890

□確認できる項目

■ 装置製造番号

本システムの装置製造番号（10桁の英数字）を確認できます。

装置製造番号
1234567890

■ システムコントローラー

システムコントローラーのバージョンを確認できます。

システムコントローラー
Ver.00.01.00.00

■ BMU 遮断部バージョン

BMU 遮断部のバージョンを確認できます。

B M U 遮断部
Ver.01.00

■ BMU 監視部バージョン

BMU 監視部のバージョンを確認できます。

B M U 監視部
Ver.01.00

■ PCS バージョン

PCS のバージョンを確認できます。

P C S
Ver.01.00

■ MAC アドレス

システムコントローラーの MAC アドレスを確認できます。

MAC アドレス
00-25-5C-12-34-56

5

手動で充電する（マニュアル運転）

本システムを手動で充電することができます。計画停電などに備えて本システムを充電しておくときに、この機能を使用してください。

メモ 手動充電について

手動充電を多用すると、徐々に蓄電可能な容量が低下する可能性があります（低下の程度は使用環境や使用方法によって異なります）。

5-1 手動充電（マニュアル運転）を開始する

1. 操作パネルの[2]ボタンを押します

マニュアル運転が開始されます。

[<]ボタンまたは[情報]ボタンを押して充放電状態を確認すると、「マニュアル運転」が表示されます。

満充電（電池残量が100%）になると、充電が停止します。

[<]ボタンまたは[情報]ボタンを押して充放電状態を確認すると、「マニュアル運転 待機中」が表示されます。

運転モード設定（参照「4-4 運転モードを変更する」P.22）で設定した放電開始時刻、または充電開始時刻になると、手動充電（マニュアル運転）が解除されて元の運転モードに戻ります。

[<]ボタンまたは[情報]ボタンを押して充放電状態を確認すると、元の運転モードが表示されます。

メモ マニュアル運転の開始について

- マニュアル運転の開始には数秒かかります。
- [2]ボタンを長押し、または連続で押した場合、マニュアル運転を開始しないことがあります。

メモ マニュアル運転時に停電した場合

- マニュアル運転時に停電した場合、マニュアル運転は解除されて、停電中運転に移行します。復電すると、元の運転モードに戻ります。
- 停電中運転時に[2]ボタンを押しても、マニュアル運転は始まりません。

< マニュアル運転 >
充電 : 1.0kW

< マニュアル運転 >
待機中

< 通常運転 >
放電 : 1.0kW

手動で充電を開始する（マニュアル運転）

5-2 手動充電（マニュアル運転）を終了する

1. 操作パネルの[2]ボタンを押します

元の運転モードに戻ります。

[<]ボタンまたは[情報]ボタンを押して充放電状態を確認すると、元の運転モードが表示されます。

< 通常運転 >
放電 : 1.0kW

6

運転を停止・再開する

長期間外出するときなど、本システムの運転を一時的に停止したい場合は、手で運転を停止できます。

警告



必ず実行

長期間運転を停止する場合は

長期間運転を停止する場合や、蓄電システム用分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした状態のままにする場合は、本システムを充電してから運転を停止してください。リチウムイオン電池の電池残量が内部消費等により徐々に低下し、過放電状態まで達すると、故障・性能低下の原因になります。また、電池残量が多い状態（目安として 50% 程度）で、長期間運転停止、または蓄電システム用分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした状態のままにすると、リチウムイオン電池の蓄電容量の低下を早める原因になります。詳しくはお買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターにご相談ください。

- 停止期間が 6 カ月以内の場合は、電池残量を 30% にしてから運転を停止してください。
- 停止期間が 6 カ月を超える場合は、連絡してください。（参照「17 ご相談窓口」P.49）

6-1 運転を停止する

1. 操作パネルのⓧボタンを押します

確認画面が表示されます。

運転を停止しますか？
はい:OK いいえ:戻る

2. OKボタンを押します

運転停止中画面が表示され、運転が停止されます。

運転停止中
ⓧボタンで運転再開

メモ 停電中運転時に太陽光パネルで発電がない場合は

運転停止中に停電した場合、または停電中運転時に運転を停止した場合は、操作パネルの表示が消えて、本システムが完全に停止します。

本システムが完全に停止した場合の本システムの起動方法については、参照「11-3 停電中運転時に本システムが完全に停止した場合の起動方法」P.41を参照してください。

運転を停止・再開する

6-2 運転を再開する

1. 操作パネルのⓧボタンを押します

プリチャージ中画面が表示されます。数十秒程度待つと、電池残量画面が表示され、運転が再開されます。

※プリチャージ中のキー操作は無効です。

メモ プリチャージとは

本システムの起動または運転再開時に、本システムの動作準備のためにリチウムイオン電池に通電している状態を指します。



通常運転
プリチャージ中



< 電池残量 12:34 >
残量 : 90%

現在の本システムの充電状態・放電状態、太陽光パネルの発電状態を確認できます。

メモ ブラウザで設定を確認するには

お手持ちのパソコンなどを使用して、設定や充放電状態を確認することもできます。詳細は、[\[参照\]](#)「8 ブラウザで設定・運転状態を確認する」P.33 を参照してください。

1. 操作パネルの ボタンを押します

電池残量画面が表示されます。

 < 電池残量 12:34 >
残量 : 90%

2. ボタンまたは ボタンを押して、確認したい項目を選択します

 < 通常運転 >
充電 : 1.0kW

□ 確認できる項目

■ 電池残量と時刻

現在の電池残量と時刻を確認できます。

電池残量は、電池アイコンと一緒に以下のように表示します。

電池残量と電池アイコンの表示 ※電池残量は 10%ごとに表示します。											
											
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	

 < 電池残量 12:34 >
残量 : 90%

■ 充放電状態

現在の蓄電池への充電電力、または放電電力を確認できます。

※設定したモードによって、確認できる項目が異なります。

● 通常運転・ピークカット運転の場合

充電電力または放電電力を確認できます。

 < 通常運転 >
充電 : 1.0kW

 < ピークカット運転 >
放電 : 1.0kW

● マニュアル運転の場合

充電電力を確認できます。

 < マニュアル運転 >
充電 : 1.0kW

● 各運転モードで、本システムが充電も放電も行っていない場合 「待機中」が表示されます。

 < 通常運転 >
待機中

メモ 満充電になった場合は

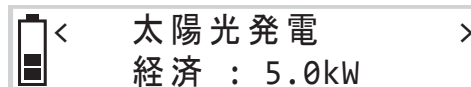
蓄電容量の低下を抑制するため、一度満充電（電池残量：100%）になったあとは、電池が 90% 程度まで放電されるまで再度充電しません。

7 充放電・発電状態を確認する

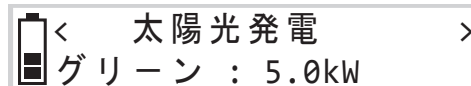
■ 太陽光発電電力

現在の太陽光パネルの発電電力を確認できます。

- 経済モードでの発電電力を確認できます。

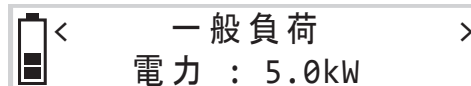


- グリーンモードでの発電電力を確認できます。



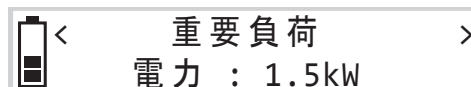
■ 一般負荷電力

現在お使いの、一般負荷の電気製品の合計消費電力を確認できます。



■ 重要負荷電力

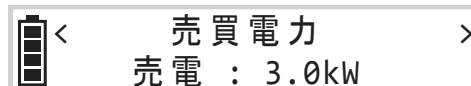
現在お使いの、重要負荷の電気製品の合計消費電力を確認できます。



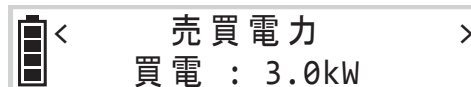
■ 売買電力

現在の電力会社への売電電力、または買電電力を確認できます。

- 電力会社に電気を売っている場合



- 電力会社から電気を買っている場合



メモ 電力の表示値について

電力の表示値には、多少の誤差があります。

メモ その他の画面表示

操作パネルの画面にメッセージを表示する場合があります。

- お知らせメッセージ
本システムの機能拡張などにより、NEC スマートエネルギーサポートセンターよりお知らせが通知されることがあります。
- プログラム更新中
本システムの機能拡張などにより、プログラムの更新を実施することがあります。
更新中（約 30 分）はプログラム更新中画面が表示されます。
更新後、本システムは自動的に再起動します。
再起動後は、元の運転モードに戻ります。
※更新中は、本システムの充放電を停止します。

プログラム更新中

8

ブラウザで設定・運転状態を確認する

お手持ちのパソコンなどを使用して、ブラウザで充電電状態や各種設定を確認できます。

メモ 複数のパソコンがある場合

確認 Web 画面に、複数のパソコンから同時にアクセスしないでください。正しく表示されないことがあります。

8-1 接続状態と IP アドレスを確認する

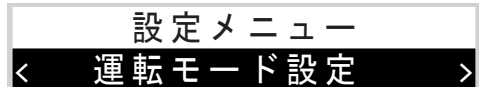
確認 Web 画面の起動には、本システムに設定されている IP アドレスが必要です。事前に確認してください。

メモ IP アドレスの確認

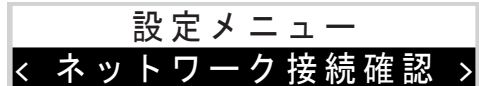
IP アドレスは、ネットワーク環境により自動で変わる可能性があります。その都度確認してください。

1. 操作パネルの 設定 ボタンを押します

設定メニュー画面が表示されます。



2. ボタンを押して「ネットワーク接続確認」を選択し、 ボタンを押します



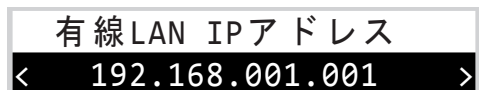
3. ボタンを押して「上位サーバー接続状態」を選択します

画面で「接続：OK」が表示されていることを確認してください。



4. ボタンを押して「有線 LAN IP アドレス」に戻り、IP アドレスを記録します

IP アドレスをメモを取るなどして記録してください。



8-2 確認 Web 画面を表示する

1. ブラウザを起動します

推奨環境：Windows Internet Explorer 11

2. ブラウザのアドレス入力欄に、次のようにアドレスを入力します

http://IP アドレス /ESS/Status.cgi

ユーザー名とパスワードの入力が求められます。以下の内容を入力してください。

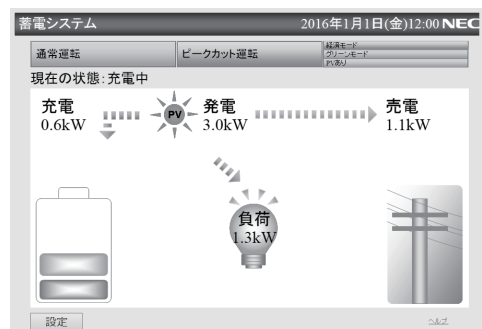
ユーザー名：euser

パスワード：epass

確認 Web 画面が表示されます。

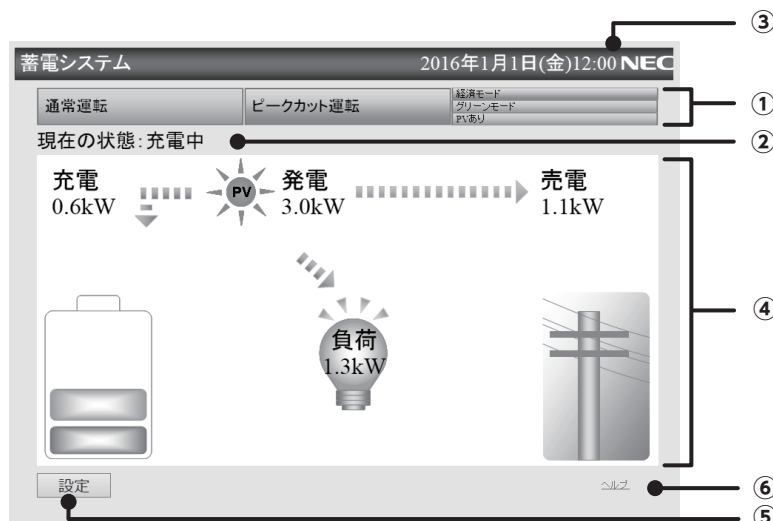
http://192.168.1.1/ESS/Status.cgi

参照「8-1 接続状態と IP アドレスを確認する」
P.33 で確認した IP アドレスを入力



8 ブラウザで設定・運転状態を確認する

□確認できる項目



①運転モード

現在の運転モードが表示されます。
表示される運転モードは右のとおりです。

運転モード	PV 運転モード
通常運転モード	経済モード
ピークカット運転モード	グリーンモード
	PV あり
停電中運転	—
システム休止	—

②現在の状態

現在の本システムの状態が表示されます。

状態表示	説明
放電中	本システムに貯めた電気を放電しているときに表示されます。
充電中	電力会社から供給される電力を使用して充電しているときに表示されます。
PV 充電中	太陽光パネルの発電電力を使用して充電しているときに表示されます。
アイドル状態	放電も充電もしていない待機状態のときに表示されます。

③現在の時刻

現在の時刻が表示されます。

④電力状態

本システムの充放電状態などが表示されます。

アイコン	説明
	接続されている電気製品の、合計消費電力を表示します。
	本システムの電池残量の状態を、5段階で表示します。
	電力会社から供給される電力の使用状態を、設定した充電時刻・放電時刻に従い、アイコン別に表示します。 ● 昼間電力時間帯 ● 夜間電力時間帯 ● 昼間停電状態 ● 夜間停電状態
	太陽光パネルの発電電力の使用状態を表示します。

8 ブラウザで設定・運転状態を確認する

⑤ 設定ボタン

設定ボタンを押すと、設定メニュー画面が表示されます。
設定メニュー画面では次の項目を設定できます。

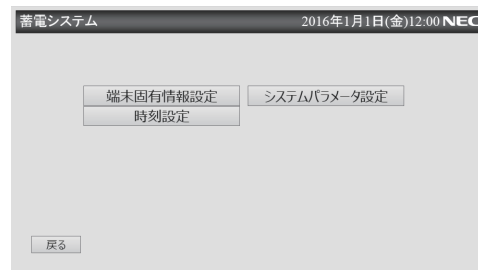
設定方法は【参照】「8-3 設定を変更する」P.35 を参照してください。

- 端末固有情報
- システムパラメータ
- 時刻

※ ネットワークに接続されていないなど、日付と時刻がずれた時に設定します。

⑥ ヘルプ

別画面にヘルプが表示されます。

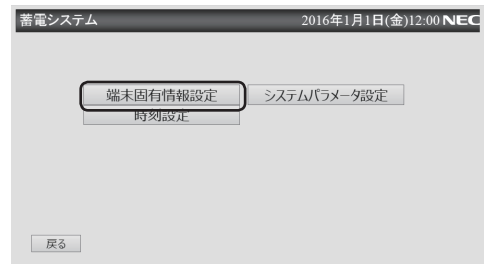


8-3 設定を変更する

□ 端末固有情報を設定する

1. 設定メニュー画面で「端末固有情報設定」ボタンを押します

端末固有情報設定画面が表示されます。



2. 設定を変更したい項目を選択し、設定値を変更します

以下の項目を設定できます。

【元に戻す】ボタンを押すと、変更前の設定値に戻ります。

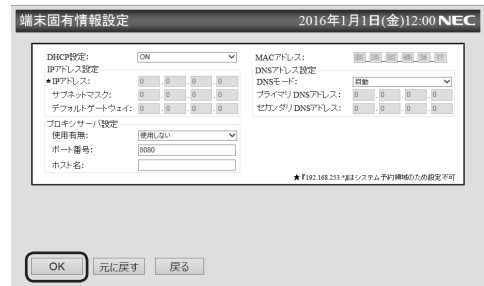
【戻る】ボタンを押すと、設定メニュー画面に戻ります。

項目	設定値
DHCP 設定	ON/OFF
IP アドレス設定	・ IP アドレス※ ¹ ・ サブネットマスク※ ¹ ・ デフォルトゲートウェイ※ ¹
プロキシサーバ設定	・ 使用する／使用しない ・ ポート番号 ・ ホスト名
MAC アドレス	表示のみ
DNS アドレス設定	・ DNS モード（自動／手動）※ ² ・ プライマリ DNS アドレス※ ³ ・ セカンダリ DNS アドレス※ ³

※¹ DHCP 設定が ON の場合、変更できません。

※² DHCP 設定が OFF の場合、自動的に手動が設定されます。

※³ DNS モードが自動の場合、変更できません。



ブラウザで設定・運転状態を確認する

3. 【OK】ボタンを押します

設定変更確認画面が表示されます。

8 ブラウザで設定・運転状態を確認する

4. [OK] ボタンを押します

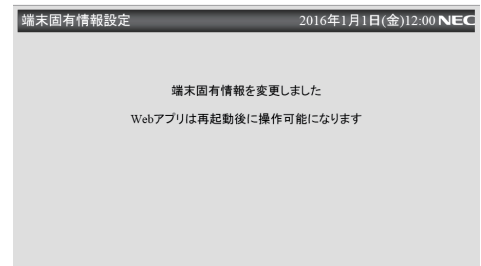
設定が変更されます。

メモ 端末固有情報を変更した場合

端末固有情報を変更すると、本システムが再起動します。

メモ 確認 Web 画面を再度操作する場合

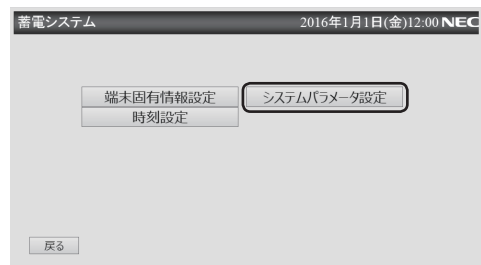
本システムが再起動後、本システムの IP アドレスを確認し、確認 Web 画面に再接続してください。



□システムパラメータを設定する

1. 設定メニュー画面 [システムパラメータ設定] ボタンを押します

システムパラメータ設定画面が表示されます。



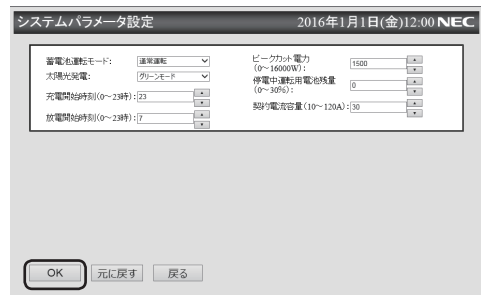
2. 設定を変更したい項目を選択し、設定値を変更します

以下の項目を設定できます。

[元に戻す] ボタンを押すと、変更前の設定値に戻ります。

[戻る] ボタンを押すと、設定メニュー画面に戻ります。

項目	設定値
蓄電池運転モード	通常運転／ピークカット運転
太陽光発電	経済モード／グリーンモード
充電開始時刻 (時)	0 ~ 23 時
放電開始時刻 (時)	0 ~ 23 時
ピークカット電力 (W)	0 ~ 16000W
停電中運転用電池残量 (%)	0 ~ 30%
契約電流容量 (A)	10 ~ 120A



3. [OK] ボタンを押します

設定変更確認画面が表示されます。

8 ブラウザで設定・運転状態を確認する

4. [OK] ボタンを押します

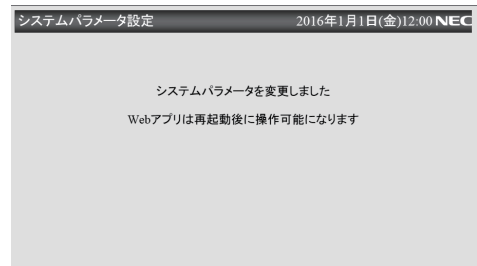
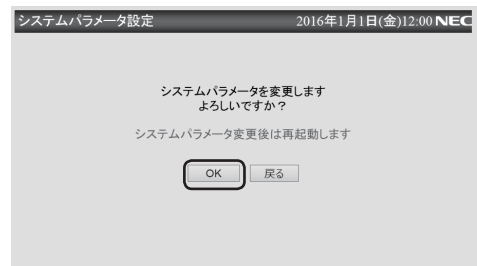
設定が変更されます。

メモ システムパラメータを変更した場合

システムパラメータを変更すると、本システムが再起動します。
再起動後は、設定した運転モードで動作します。

メモ 確認 Web 画面を再度操作する場合

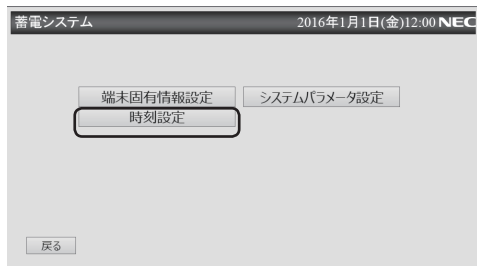
本システムが再起動後、本システムの IP アドレスを確認し、確認 Web 画面に再接続してください。



□時刻を設定する

1. 設定メニュー画面 [時刻設定] ボタンを押します

時刻設定画面が表示されます。



2. 設定を変更したい項目を選択し、設定値を変更します

[戻る] ボタンを押すと、設定メニュー画面に戻ります。

3. [OK] ボタンを押します



4. 設定完了画面で [OK] ボタンを押します

設定メニュー画面に戻ります。



9

電池容量の補正機能

リチウムイオン電池はご使用を重ねていくにつれ徐々に蓄電容量が低下します。

本システムでは、操作パネルの電池残量表示を最適化するために、1年に2回（4月1日と10月1日）電池を空にしてから満充電まで充電し、電池容量を補正します。

メモ 電池容量の補正中は

- 補正中も、電気製品は通常通りご使用いただけます。
- 電力消費が少ない場合は通常と異なる動作となります（下記の動作例を参照してください）。
- 操作パネルの画面は通常時と同じです
- ピークカット運転モードに設定している場合、補正中は通常運転モードで動作します。
- 経済モードで、1日で電池残量を使い切っている場合、補正中の動作は通常時の動作と同じです。
- グリーンモードに設定している場合、補正中は経済モードで動作します。
- 停電中運転用電池残量設定（30%、20%、10%）にかかわらず、電池が空の状態になるまで放電します。
- 補正中に停電になった場合は、停電中運転に移行します。
- 補正中に以下となった場合、補正は解除され、次回半年後に電池容量の補正が実行されます。
 - ・ 停電になった場合
 - ・ 各種設定変更を行った場合
 - ・ ボタンを押してマニュアル運転を行った場合
 - ・ ボタンを押して運転停止した場合
 - ・ 本システムが完全に停止した場合

□ 電池容量の補正中の動作について

電池容量の補正中の電力の使用状況により動作が異なります。

補正時の動作例：実行日 4月1日

放電開始時刻 朝7時

充電開始時刻 夜23時の場合

Case 1

4月2日の放電開始時刻（7時）までに電池残量が空から満充電になる場合

→通常時の動作と同じ

Case 2

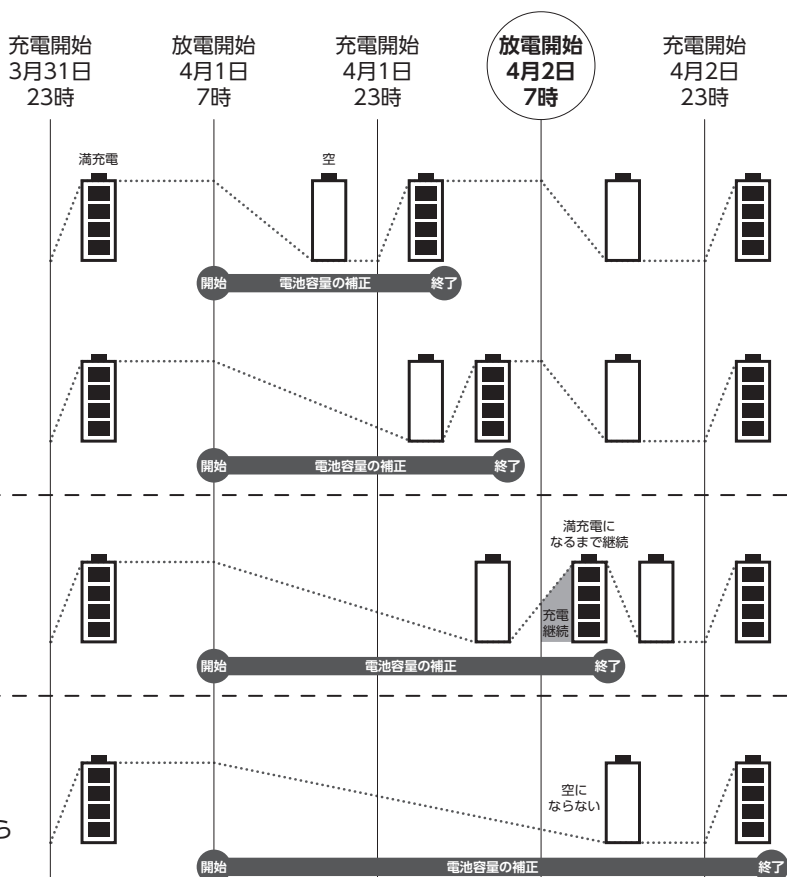
4月2日の放電開始時刻（7時）までに満充電にならない場合

→翌朝、満充電になるまで充電が継続する

Case 3

4月2日の放電開始時刻（7時）までに電池残量が空にならない場合

→4月2日の充電開始時刻（23時）から充電を行う



操作パネルの乾電池の電池残量が少なくなると、操作パネルに右の画面が表示されます。手順に従って乾電池を交換してください。

乾電池を交換して下さい
はい:OK

メモ 乾電池の交換を行わなかった場合

- 乾電池の電池残量が完全になっても、通常のご使用時は本システムは問題なく動作しますが、停電時に本システムが完全に停止した場合、再起動が行えなくなる、また時計設定がリセットされる可能性があります。
- 電池残量が少なくなった乾電池を長期間交換しない場合、乾電池の液漏れ・破裂の原因になるおそれがあります。

次の手順で乾電池を交換します。

1. 交換用乾電池を準備します

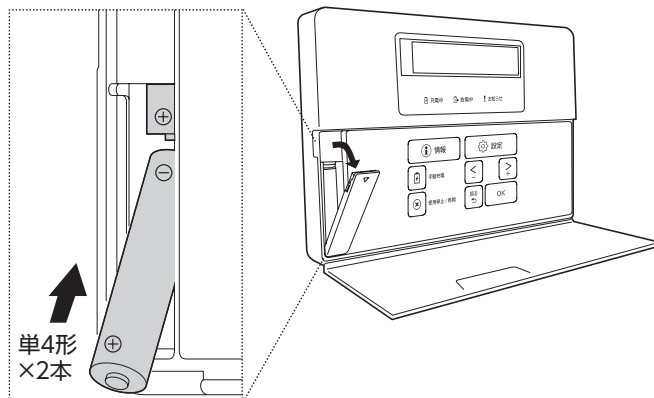
電池仕様：単4形 2本 アルカリ乾電池（推奨）

⚠ 注意	
	古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。 乾電池の液漏れ・破裂の原因になるおそれがあります。
	乾電池に表示されている「使用推奨期限」を守り、同じ種類・同じ銘柄の新しい乾電池を使用してください。 乾電池の液漏れ・破裂の原因になるおそれがあります。

2. 乾電池カバーを外します

3. 古い乾電池を取り出し、右図のように、向きに注意して新しい乾電池を入れます

4. 乾電池カバーを取り付けます



5. [OK]ボタンを押します

電池残量画面に戻ります。

停電になると、本システムは自動的に停電中運転に切り替わり、放電を開始します。これにより、貯めた電気で重要負荷の電気製品を一定時間稼働させることができます。停電が復旧すると、本システムは自動的に通常の運転状態に戻り、停電前に設定した運転モードに従って動作を再開します。

11-1 停電時の本システムの動作

停電が発生すると、本システムは自動的に停電中運転に切り替わり、重要負荷への放電を開始します。

※切り替わる瞬間に、数秒の停電が起こります。

停電中運転時は充電中ランプ（橙色）・放電中ランプ（緑色）は消灯します。

 停電中運転 残量 : 50%
放電 : 1.0kW

メモ 停電中に太陽光パネルで発電した電気を本システムに充電する場合

太陽光パネルで発電した電気が重要負荷の電気製品を稼働させ、さらに余剰が出た場合に、本システムが充電されます。

※ 電力の余剰については、ご使用の太陽光パネルの発電能力をあらかじめご確認ください。

メモ 停電中運転時に太陽光パネルで発電していない場合、本システムが完全に停止することがあります

停電中運転時に以下の操作等をした場合、本システムが完全に停止することがあります。このとき、操作パネルには何も表示されなくなります。本システムが完全に停止した場合の本システムの起動方法は [参照](#) 「11-3 停電中運転時に本システムが完全に停止した場合の起動方法」 P.41 を参照してください。

- 停電中運転時に操作パネルの  ボタンを押したあとに、 ボタンを押して運転を停止した場合
- 停電中運転時に操作パネルの「リセットスイッチ」を押した場合
- 停電中運転時に本システムの電池残量が 0% になり、その後 7 ～ 10 時間程度経過した場合
- 停電中運転時に装置異常が発生した場合

メモ 停電中運転時に太陽光パネルの発電がある場合

停電中運転時に操作パネルの  ボタンを押したあとに、 ボタンを押して運転を停止した場合、運転停止中画面が表示された状態となります。

運転停止中

停電中運転を再開する場合は以下を行ってください。

① PV 用接続箱の全ての PV 用ブレーカを「OFF」にした後、1 分程度待つ。

※操作パネルの画面が消えて、本システムが完全に停止します。

② [参照](#) 「11-3 停電中運転時に本システムが完全に停止した場合の起動方法」 P.41 に従い、本システムを起動する。

③ ①で「OFF」にした、PV 用接続箱の PV 用ブレーカを「ON」に戻す。

※ 太陽光パネルが十分に発電可能な状態の場合、①の後に、②を行わずに③を行っても本システムを起動できます。

この場合の本システムの起動には 1 分程度かかります（動作温度範囲外となっている場合、起動しません）。

本システムが起動し、起動画面が表示された後、「停電中運転を再開します」と表示されたら、 ボタンを押して、停電中運転を再開してください。（[参照](#) 「11-3 停電中運転時に本システムが完全に停止した場合の起動方法」 P.41）

11-2 停電復旧時の本システムの動作

停電が復旧すると、本システムは自動的に停電中運転解除に向けてカウントダウン状態になります。

系統復帰確認中
状態確認 : 300 秒

カウントダウンが完了すると、運転復帰確認中画面が表示され、停電前の運転モードに戻ります。

運転復帰確認中

※ 停電前の運転モードに戻る際に、数秒の停電が起こります。

11-3 停電中運転時に本システムが完全に停止した場合の起動方法

電池残量がある場合は、停電中に次の操作を行うことで本システムを起動できます。

※ 操作を行わなくても、停電が復旧すると自動的に操作パネルの画面が表示され本システムは起動します。

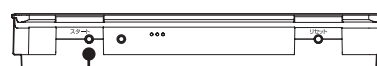
1. 操作パネル底面にある「スタートスイッチ」を 10 秒程度長押しします

本システムが起動し、起動画面が表示されます。

メモ 太陽光パネルが発電を開始した場合

自動的に本システムが起動し、起動画面が表示されます。

※ 動作温度範囲外となっている場合、自動的に起動しません。



スタートスイッチ

ENERGY
STORAGE SYSTEM

2. 「停電中運転を開始します」と表示されたら、**[OK]** ボタンを押します

停電中運転になります。

[X] ボタンを押すと、再度本システムが完全に停止します。

停電中運転を開始します
はい:OK

停電中運転 残量 : 50%
放電 : 1.0kW

メモ 本システムが起動しない場合は

次のいずれかの可能性があります。

- 電池残量が 0% となっている → 停電の復旧を待ってください。
- 操作パネルの乾電池の電池残量がなくなっている → **[参照]** 「10 操作パネルの乾電池を交換する」 P.39 の手順で乾電池を交換後、上記操作を再度実施してください。
- 装置異常が発生している → NEC スマートエネルギーサポートセンターに連絡し、指示に従ってください。
- 動作温度範囲外となっている → 動作温度範囲内となることを待ってください。

メモ 起動後の出力周波数について

停電中に本システムを起動した場合、停電中運転時の重要負荷への出力周波数は 60Hz となります。

停電が復旧すると、出力周波数を電力会社から供給される電気の周波数（※）に自動的に合わせます。

※ 50Hz または 60Hz。ご契約の電力会社や地域により異なります。

12 故障かな？と思ったら

操作パネルの画面に以下のエラーメッセージが表示されたときは、下記対処法に従って適切に対処してください。

操作パネルの表示	原因	対処法
電気を減らして下さい	重要負荷の電気製品の使用電力が上昇しています。 ※本画面の表示中は操作パネルからアラーム音が鳴り続けます。	重要負荷の電気製品を減らしてください。
電気を減らして下さい はい:OK	重要負荷の電気製品の使用電力が上昇し、放電が停止しています。 ※本画面の表示中は操作パネルからアラーム音が鳴り続けます。	①重要負荷の電気製品を減らしてください。 ②操作パネルの[OK]ボタンを押してください。
 < 通常運転 > 高温のため充電停止中	本システムの内部温度が高温状態になっています。	本システムの内部温度が下がるまで、しばらくお待ちください。
 < 通常運転 > 高温のため充放電停止中	本システムの内部温度が高温状態になっています。	本システムの内部温度が下がるまで、しばらくお待ちください。
 < 通常運転 > 低温のため充電停止中	本システムの内部温度が低温状態になっています。	本システムの内部温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
 < 通常運転 > 低温のため充放電停止中	本システムの内部温度が低温状態になっています。	本システムの内部温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
装置異常発生 停止中 (XXXXXXXX) ※ (XXXXXXXX) にはエラーコードが表示されます。 エラーコードは状態によって異なります。	上記以外の異常を検知しています。	NEC スマートエネルギーサポートセンターに連絡し、表示されているエラーコードを伝え、指示に従ってください。

12 故障かな？と思ったら

操作パネルの表示	原因	対処法
 (画面に何も表示されない)	操作パネルの表示画面が消灯状態、または本システムが完全に停止している状態の可能性があります。	① 操作パネルのボタンを一度押すと表示画面が表示されます。 ※ この際のボタン操作は無効です。2度目のボタン操作から有効になります。 ② ①の操作を行っても表示画面が表示されない場合は、本システムが完全に停止している状態の可能性があります。 【参照】「11-3 停電中運転時に本システムが完全に停止した場合の起動方法」P.41 を参照してください。 ③ ①、②の操作を行っても表示画面が表示されない場合は、NEC スマートエネルギーサポートセンターに連絡し、指示に従ってください。

メモ エラーメッセージが表示され続けた場合

お客様が上記の操作パネルのエラーメッセージに気付かなかったり、対処を実施しなかったりした場合、NEC スマートエネルギーサポートセンターから連絡を差し上げることがあります。

本システムに緊急停止が必要な異常が発生した場合、①蓄電ユニットから離れて ②緊急停止方法に従って直ちに本システムを停止し ③お買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターに連絡（[参照](#)「17 ご相談窓口」P.49）してください。

警告



必ず実行

緊急停止が必要な場合は

以下のような異常がある場合、蓄電ユニットから離れて直ちに本システムを停止し、連絡してください。

- 異音・異臭がする
- 車両等が衝突して変形した
- 傾いたり、転倒した
- 冠水したり、冠水するおそれがある

メモ

緊急停止したときは

緊急停止方法に従い本システムを停止すると、重要負荷の電気が数秒ほど切れる（※）、または重要負荷の電気が完全に停電します。

※ 重要負荷でご使用の電気製品によっては、動作が停止する、時計がリセットされる、初期化されるなどの可能性があります。電気製品の動作が停止した場合は、もう一度電気製品の電源を入れてください。

緊急停止方法

緊急停止方法は、操作パネルカバー内側のラベルにも記載されています。

1. PV 用接続箱の PV 用ブレーカを操作します

全ての PV 用ブレーカを「OFF」にしてください。

2. 蓄電システム用分電盤を確認します

蓄電システム用分電盤には、切替スイッチがある分電盤と、切替スイッチがない分電盤があります。

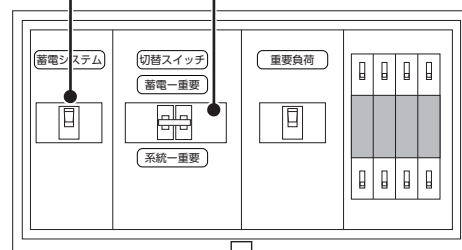
ご利用の蓄電システム用分電盤を確認してください。

3. 蓄電システム用分電盤のブレーカを操作します

● 切替スイッチがある分電盤をご使用の場合

- ①蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。
- ②切替スイッチを「系統-重要」にしてください。

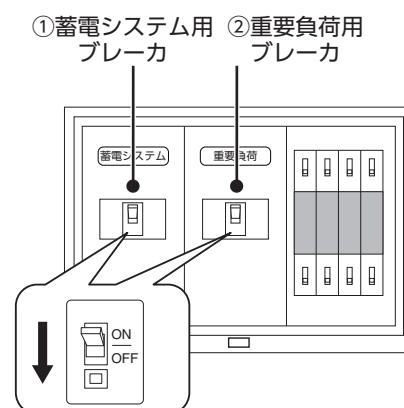
①蓄電システム用
ブレーカ ②切替
スイッチ



※ 蓄電システム用分電盤の例

● 切替スイッチがない分電盤をご使用の場合

- ①蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。
- ②重要負荷用ブレーカを「OFF」にしてください。



※ 蓄電システム用分電盤の例

4. 操作パネルのⓧボタンを押して、本システムを停止します

確認画面で OK ボタンを押すと、運転停止中画面が表示されたあと、画面の表示が消えて本システムが完全に停止します。

運転を停止しますか？
はい:OK いいえ: 戻る

運転停止中

5. 連絡する

お買い上げの販売店または NEC スマートエネルギーサポートセンターにご連絡（ 参照 「17 ご相談窓口」P.49）ください。

- サンシェードの通気口などにゴミがたまっていたら水洗いでゴミを取り除いてください。
- サンシェードの汚れが目立つ場合は、乾いた布等で拭き取ってください。

 注意

禁止

以下の洗剤・用品・機器などを使用しないでください

お手入れの際などに、以下の洗剤・用品・機器などを使用しないでください（本システムの周辺（コンクリート基礎・壁など）を含む）。
塗装がはがれたり、きず・変色・さびの原因になるおそれがあります。

- 「酸性」の表示のある洗剤・洗浄剤・漂白剤
- 「アルカリ性」の表示のある洗剤・洗浄剤・漂白剤
- 薬品（塩酸・クエン酸など）
- 溶剤（シンナー・アセトンなど）
- 研磨材（クレンザー・みがき粉など）
- 表面を削る可能性のある清掃用品（ネット付きスポンジ・不織布付きスポンジ・アルミ付きスポンジ・ナイロンたわし・金属たわし・布たわしなど）
- 清掃機器（高圧洗浄機・スチーマーなど）

15 仕様・外形寸法

15-1 仕様

■ 蓄電ユニット

項 目	内 容	
型番	ESS-P05004D0	
電池種類	リチウムイオン電池	
蓄電容量	3.9kWh (※ 1)	単電池（セル）の蓄電容量合計を示す。 実際に使用できる電力量は 3.0kWh（PCS 変換効率を除く）。
定格入力	単相 3 線 AC100/200V 18.6A 50/60Hz	
PV 入力	直流 2 線 DC60 ～ 420V	
定格出力（一般）	単相 3 線 AC100/200V 22.5A 50/60Hz 4.5kW (※ 2)	
定格出力（重要）	単相 2 線 AC100V 15A 50/60Hz 1.5kW (※ 2)	
定格出力放電可能時間	約 120 分 (※ 3)	機器の連続最大出力時の放電可能時間を示す。
機器と放電可能時間の例示	約 9 時間 (※ 3)	機器合計 350W を接続した場合。
外形寸法	幅 980mm、奥行き 300mm、高さ 1150mm（突起物を含まない）	
質量	約 160kg	
動作温度	-10 ～ 40℃ (※ 4)	
防塵防水	IP25	

※ 1 使用環境や使用方法によって変化します。

※ 2 太陽光パネルで発電した余剰電力の売電中は、本システムに貯めた電気を放電しません。



中には系統への逆潮流を防止するために本システムからは使用電力量（太陽光パネルから供給されている電力量は除く）の約 95% までを放電し、残り約 5% は買電します。

※ 3 太陽光パネルの発電がない場合。使用環境や使用方法によって変化します。

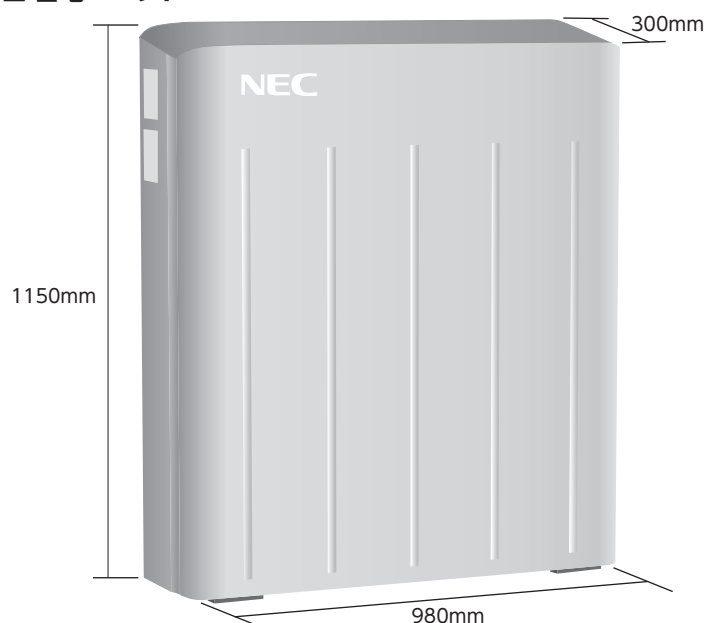
※ 4 温度範囲内であっても、装置の内部温度が高温になった場合、温度上昇抑制機能が働き装置の出力を抑制します。

■ 操作パネル

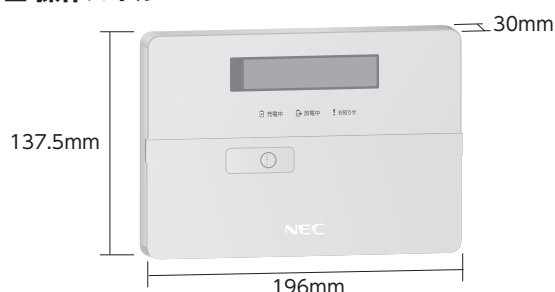
項 目	内 容
電源	DC 12V
使用温度範囲	-10 ～ 40℃
外形寸法	幅 196mm、奥行き 30mm、高さ 137.5mm（突起物を含まない）
質量	0.42kg（壁面取り付け用金具を除く）
スタート電源 電池種類	アルカリ乾電池（単 4 形：2 本）

15-2 外形寸法

■ 蓄電ユニット



■ 操作パネル



本書に記載されている用語について説明します。

用 語	意 味
一般負荷	一般負荷用配線に接続された、重要負荷以外の電気製品を指します。
重要負荷	重要負荷用配線に接続された、停電時に本システムの電力で利用できる電気製品を指します。
通常運転モード	設定した充電開始時刻から充電を開始し、設定した放電開始時刻から消費電力に従って本システムに貯めた電力を使用する運転モードです。
ピークカット運転モード	消費電力が設定値を超えた場合に、超過した分だけ本システムに貯めた電力を使用し、電力会社からの買電を設定値以下に抑える運転モードです。
経済運転モード	太陽光パネルで発電した余剰電力を電力会社に売電する運転モードです。
グリーン運転モード	太陽光パネルで発電した余剰電力を本システムに充電する運転モードです。 本システムが満充電状態のときは電力会社に売電します。
停電中運転	停電などで電力会社の電力が本システムに供給されなくなり、本システムが貯めた電力を重要負荷に放電している状態を指します。
停電中運転用電池残量	停電中運転用に本システムに確保する電池残量です。電池残量が設定値まで低下した時点で放電が終了します。
契約電流容量	電力会社と契約している、使用できる電流の上限値です。
プリチャージ	本システムの起動または運転再開時に、本システムの動作準備のためにリチウムイオン電池に通電している状態を指します。
無停電電源装置 (UPS)	電池や発電機が内蔵され、停電時でもしばらくの間電気を供給できる装置です。
逆潮流	電力を系統へ逆流させることを指します。

□お問い合わせの前に

蓄電ユニットの左上に、型番・製造番号などが記載された銘板が貼られています。
お問い合わせの際には事前に確認してください。

銘板例

NEC		小型蓄電システム	
型番	ESS-P05004D0		
系統入力	単相3線 AC100/200V 18.6A 50/60Hz		
PV入力電圧範囲	DC60 - 420V		
最大PV入力電圧	DC420V		
系統出力	単相3線 AC100/200V	50/60Hz	4.5kW
重要出力	単相2線 AC100V	50/60Hz	1.5kW
蓄電容量	3.9kWh	質量	160kg
動作温度	-10 ~ 40℃		
製造番号	15W2001051		
製造年月	2015年 10月		
管理番号	ESS-P05004D0-RL		
日本電気株式会社		MADE IN JAPAN	
			
PCS	MU-114-01R		
蓄電池	243-430578 (M32103BA-001)		
			

※型番、製造番号、製造年月、管理番号、PCS 型番、蓄電池型番、
QR コードは装置により異なります。



□お問い合わせ先

使用方法のご質問や故障かな？と思われた場合、以下までご連絡ください。

NEC スマートエネルギーサポートセンター (9:00 ~ 19:00 365日無休)



0120 - 945 - 520

□販売店お問い合わせ先

設置工事における疑問点、移設、廃棄に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

品名	小型蓄電システム		
型番	ESS-P05004D0		
製造番号			
販売店名			
電話番号			
お買い上げ日	年	月	日

※お買い上げの際に記入されますと便利です。

小型蓄電システム ESS-P05004D0

取扱説明書

2016 年 1 月 第 4 版 

日本電気株式会社



* 8 5 6 - 1 8 0 7 5 4 - 0 0 1 - D 

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れなど、お気づきのことがありましたら、NEC スマートエネルギーサポートセンターにご連絡（「17 ご相談窓口」P.49）ください。
4. 本書は 2015  2 月時点の情報を元にして作成しています。